日本とスペインをつなぐ無料スペイン情報誌［アクエドゥクト］ www.acueducto.jp

acueducto

2019
39
31 - octubre

特集

スペイン在住の日本人6人。スペインで為せば成る！

6 Japoneses en España "Querer es poder"

社会人も　シニアも　学生も

今日から スペイン語 始めよう！

Vamos a estudiar español

世界のスペイン語 人口は5億人以上！

スペイン語は、スペインはもちろんのこと、ラテンアメリカ諸国を中心に20ヶ国以上の公用語。国際連合の公用語の1つでもあり、国際政治の場でも重要な言語です。

ADELANTEは スペイン語の専門校！

初心者の方でも楽しく安心して学べるアットホームな雰囲気の教室。「プチ留学♪」気分で、スペインやラテンアメリカ各国の文化、社会、生活の知識も深められます。

ネイティブ講師は プロフェッショナル！

講師は全員ネイティブで、スペイン語の指導歴も豊富。1人1人の学習進度をチェックしながら、正しいスペイン語の知識が身につくように指導します。

生徒さんの声

全くのゼロからのスタートだった私が、宿題に頭を抱えながらも楽しく学び、教科書は4冊目になりました。これも好奇心や向上心をくすぐってくれるアデランテのおかげ。熱心に教え、褒めてヤル気を起こさせてくれる先生方、質問にも快く答えてくれるスタッフ、豊富な特別レッスンやイベント。特にワイン講座や料理教室などは、語学だけでなくスペインへの興味をかきたててくれました。何よりもそこで知り合った方々と交流する喜びが得られたのは大きな収穫です。（プライベート / 女性）

体験レッスンで
教室の雰囲気を実感！

マンツーマンの体験レッスン

無料：15分
有料：50分

随時実施していますので、好きな時間帯でご予約ください。

お気軽にお問い合わせください。

＼友だちもできて楽しい／

グループレッスン

1 回（50 分）、各クラス2〜6名
レ　ベ　ル　：入門〜上級
レッスン回数：月4〜5回
曜日・時間帯：固定 / 週1回

受講料：15,000円 月4回の場合

＼自分のペースで効率よく学ぶ／

プライベートレッスン

1回（50分）〜受講可
目的やペースに合わせた
自由なカリキュラム
曜日・時間帯：自由（事前予約制）

受講料：6,950円〜

※価格は税込です。

スペイン語 ADELANTE
www.adelante.jp

お問い合わせ

大阪校
TEL:06-6346-5554
大阪市北区梅田2-5-8 千代田ビル西別館2F

神戸校
TEL:078-230-2022
神戸市中央区磯辺通1-1-18 カサベラ国際プラザビル9F

info@adelante.jp

Sumario

7 特集 スペイン在住の日本人6人。スペインで為せば成る！
6 Japoneses en España "Querer es poder"

18 オリーブオイル1本あれば！ vol.4
Empanadilla 文·写真 渡辺万里

21 スペイン留学.jp
発見！留学先の宝びと —留学経験者たちのcariñoな想い出話—

26 ADELANTEのスペイン語レッスン
初級 スペイン語で話そう Lección 21
最上級

27 実践 Español práctico vol. 15
履歴書の書き方

28 中級 スペイン語講座 Lección 39
接続法の用法(2) 文 仲井邦佳

29 上級 ビジネススペイン語 vol. 20
税金に関わる表現 文 伊藤嘉太郎

30 イラスト解説 スペイン語 慣用表現 vol. 10
4対8個 Médico 医者

31 支倉常長のルーツを訪ねるハポンさん達の旅

36 エコ·エスパーニャ vol.16
良心のキッチン「Cocina Conciencia」 写真·文 篠田有史

38 音楽の時間
スペイン◆舞踊と音楽の物語 その6 文 下山静香

40 水彩画だより スペインの風景に魅せられて vol. 10 文·絵 牧瀬貢
スペイン味うぉっちんぐ 第5回 文·写真 片岡治子

41 El Diario de ADELANTE

サン·パウ病院へと続くガウディ通り(バルセロナ)

表紙写真:バルが軒を連ねるフェルミン·カルベトン通り(サン·セバスティアン)

acueducto 39

スペイン無料情報誌
octubre 2019 vol.39
printed in Japan / FREE PAPER

発行元：
有限会社 ADELANTE
〒530-0001 大阪市北区梅田 2-5-8 千代田ビル西別館 2 F
Tel：06-6346-5554 Fax：06-6110-5122
info@acueducto.jp
www.acueducto.jp

ADELANTE Co., Ltd
2FL. Chiyoda Bldg. West Annex 2-5-8 Umeda Kita-ku Osaka
530-0001 Japón

www.facebook.com/acueducto.japon
@acueducto_japon

本誌の無断複写（コピー）は著作権法上での例外を除き、
禁じられています。本誌の内容および広告に関しては、
発行元の責任の限りではありません。
本誌は一切の転売を禁じております。

Director：編集長
Shoji Bando / 坂東省次

Editor：発行
Alejandro Contreras / コントレラス・アレハンドロ

Coordinación：編集
Nagisa Miyata / 宮田渚

Diseño：デザイン
Koichi Hayashi / 林コイチ

Colaboradores en este número：今号の執筆・校正協力

Kaname Ikemoto / 池本かなめ
Yoshitaro Ito / 伊藤嘉太郎
Tsuyoshi Osaki / 尾崎剛士
Haruko Kataoka / 片岡治子
Riko Katsube / 勝部理子
Elena Contreras / コントレラス・エレナ
Yuji Shinoda / 篠田有史
Haruo Shimohira / 下平晴朗
Shizuka Shimoyama / 下山静香
Mihoko Terada / 寺田美穂子
Francisco Torregrosa / トレグロサ・フランシスコ
Kuniyoshi Nakai / 仲井邦佳
Tsuneyoshi Nakai / 中井経賀
Reiko Nawa / 名和玲子
Masataka Hasekura / 支倉正隆
Juan Francisco Japón / ハポン・フアン・フランシスコ
Masanori Hiraoka / 平岡正徳
Mitsugu Makise / 牧瀬貢
Miyuki Miura / 三浦深雪
Minako / ミナコ
Mari Watanabe / 渡辺万里
Minoru Watanabe / 渡邊実

Colaboradores:

— 読者の声 —
Estimados Señores

acueducto 編集部では、皆さまからのメール・お便りを募集しています。スペイン情報誌 acueducto へのご意見・ご感想のほか、スペインにまつわるエピソードもお寄せください。

1. お名前（ペンネーム）※匿名希望の場合は、その旨を明記ください
2. お住まい　3. ご連絡先　4. メッセージ（写真入りのお便り・メールも大歓迎です）

宛先：有限会社 ADELANTE
〒530-0001 大阪市北区梅田 2-5-8 千代田ビル西別館 2F info@acueducto.jp

・お寄せいただいたメッセージは、これからの誌面制作の参考にさせていただきます。また、acueducto 誌面や弊社ホームページ、宣伝物に掲載させていただく場合がありますので、掲載を希望されない場合は、「非公開希望」と明記ください。なお掲載にあたっては、文章の一部削除・変更させていただく場合がありますのでご了承ください。
・いただいた個人情報は上記以外の目的では使用いたしません。
・お便り・メールへの個別のお返事は差し上げておりません。
・お送りいただきましたお便り・写真は返却いたしません。あらかじめご了承ください。

10%OFF

スペイン語教室ADELANTEオトクコースのご案内

スキマの集中スペイン語！

プライベート 4 レッスン（1 回 50 分）× 3 日間★

スペイン語漬け！

遠方の方におすすめ

★6レッスン×2日間でも受講可能です。

大阪、神戸のスペイン語教室はADELANTE

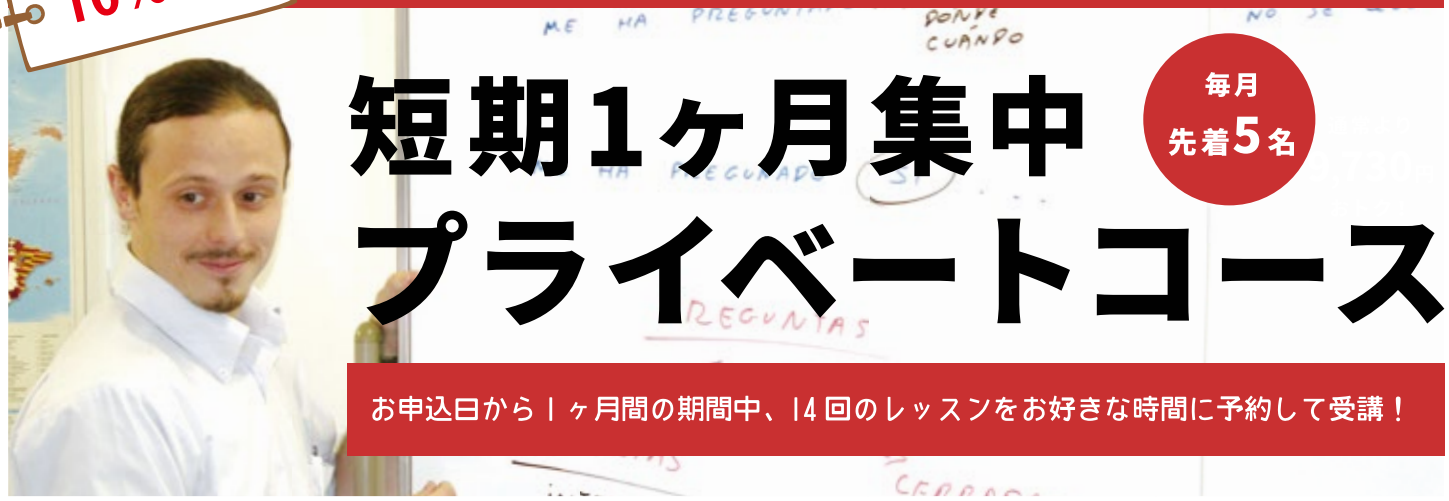
スペイン語をオトクな料金で！期間限定で関西に滞在する方にもオススメ。空き時間を活用しよう！

日　程 お好きな 3 日間

時　間 1 日 4 コマ（自由予約制）

受講料 75,060 円（通常から 8,340 円オトク！）

10%OFF



短期1ヶ月集中 プライベートコース

毎月先着5名

お申込日から 1 ヶ月間の期間中、14 回のレッスンをお好きな時間に予約して受講！

日　程 初回レッスンから 1 ヶ月間のお好きな時間

受講料 87,570 円 / 14 回（通常から 9,730 円オトク！）

●オトクコースは全レベル対象。学習内容の総復習、苦手分野の克服、試験対策、ビジネス＆旅行向けの会話、語学力の底上げなど、ご要望に応じて自由にアレンジできます。1 レッスンは 50 分です。

●それぞれのコースは入会金免除。テキストをお持ちでない場合は別途、教材費が必要です。　★表示価格は全て税込です。

スペイン語 ADELANTE
www.adelante.jp

お申込み・お問合せはinfo@adelante.jpまたは各校舎まで▶

大阪校：06-6346-5554
大阪市北区梅田2-5-8千代田ビル西別館2F

神戸校：078-230-2022
神戸市中央区磯辺通1-1-18カサベラ国際プラザビル9F

スペイン語特別クラス

入会不要、一般の方も参加できます。

大阪校＆神戸校

お問い合わせ

info@adelante.jp

大阪校

TEL:06-6346-5554

神戸校

TEL:078-230-2022

・各特別クラスの価格は全て税込です。
・ADELANTEの受講生（大阪校・神戸校）は、受講生価格でお申込いただけます。
・クラスへのお申込・お支払は開講日の前日まで。お申込後のキャンセルは返金いたしかねますのでご了承ください。

ミケルの文法講座

文法 OSAKA

¡Vamos a estudiar!

【初級編】過去形の使い分け
第1回　11月21日（木）17:30〜18:20
第2回　11月28日（木）17:30〜18:20
[対象]A2以上
【中級編】接続法の用法
第1回　12月5日（木）17:30〜18:20
第2回　12月12日（木）17:30〜18:20
[対象]B1以上

[料金]受講生 3,750円
一般 4,400円（各回）

それぞれ全2回でテーマ別文法講座を開講。皆さんが苦手とするテーマを、文法指導経験豊富なミケル先生と克服しましょう。

文法強化週間

文法 OSAKA

第2・第4 月曜日 20:30〜21:20
（11月11日, 25日, 12月9日, 23日, 1月13日, 27日）

[担当]複数の先生
[対象]A1〜A2
[料金]受講生 3,750円
一般 4,400円（各回）

¡Vamos a repasar!

スペイン語のニガテを克服！毎月2回のクラスで、よくある文法間違いの発見や、時制の使い分けなどを学びましょう。

・現在形の活用
・過去形の活用と用法
・未来形の活用と用法
・再帰動詞の用法
・gustar, doler, picarで作る構文
・定冠詞と不定冠詞　など

スペインの歴史と芸術

文化 OSAKA

第5回　アル・アンダルス
11月30日（土）17:30〜18:20
第6回　サルバドール・ダリ
1月18日（土）17:30〜18:20

[担当]アレックス
[対象]A2以上
[料金]受講生 3,750円
一般 4,400円（各回）

¡Vamos a estudiar!

スペインの歴史をスペイン語で学びましょう。今回はイスラム時代「アル・アンダルス」と、前回好評だったサルバドール・ダリをリピート開講します。

スペイン語でディベート

会話 KOBE

神戸校　12月7日（土）14:30〜16:20

[担当]アレハンドロ
[対象]B1以上
[料金]5,500円（各回）

¡Vamos a hablar!

ニュース、社会、流行、生活など、身近にある様々な話題について、スペイン語でディベートしてみましょう。自分の意見を積極的に発表する訓練ができます。DELE面接対策にもおすすめの特別クラスです。

スペインのクリスマス

文化 OSAKA

¡Vamos a saber!

12月21日（土）17:30〜18:20
[担当]アレックス
[対象]誰でも
[料金]3,750円

こちらもスペイン語がわからなくてもだいじょうぶです！一般のご参加も大歓迎！！

待ちに待ったクリスマス♪スペイン人はどんなスタイルでお祝いするのでしょうか？伝統行事や食事、音楽を知って楽しみましょう！

スペインで話されている他言語も受講可
（プライベートレッスン / 1回6,950円）
バスク語（担当：ミケル）
カタルーニャ語（担当：アレックス）

ミケルのスペイン料理会

2019年
11月10日（日）

MENÚ

Gambas al ajillo Deluxe　DX 海老のにんにくオイル煮
Sorbete de limón al cava　スパークリングワインとレモンアイスのお口直しドリンク
Marmitako　マルミタコ（バスクのカツオと野菜の煮込み）
Tarta de queso al estilo de Mikel　ミケル流バスクチーズケーキ

参加費：5,500円
持ち物：エプロン、三角巾、ふきん

お申込
ADELANTE各校にて
参加費と合わせてお申込ください

時　間
11時〜16時頃まで

場　所
クレオ大阪東 クラフト調理室（大阪市立男女共同参画センター 東部館）
大阪市城東区鴫野（しぎの）西2-1-21

アクセス
○JR京橋駅　南口から南へ約600m

締め切り
11月6日（水）（お申込後のキャンセルはできません）

CASTELLBLANC

ようこそ、“白いお城”「カステルブラン」へ。

輸入総発売元 国分グループ本社株式会社
https://www.kokubu.co.jp/

飲酒は20歳になってから。飲酒運転は法律で禁じられています。
妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。お酒は適量を。

スペイン在住の日本人6人。
スペインで為せば成る!

6 Japoneses en España "Querer es poder"

～仕事は人生の中心じゃない?現地生活を謳歌する日本人6人に聞いてみました～

駐在、留学、自由業など、日本人が長期でスペインに渡る背景はさまざま。全体を展望すると在スペイン邦人数は年々増加している*。特に30歳以下の人にとっては、2017年4月からワーキングホリデー制度が始まったことで門が大きく開かれ、このビザで近いうちにスペインへ出発しようと考える人もいるだろう。スペインは豊かな食文化、多様性や包容力があり外国人に優しい国民性、多数の歴史文化遺産など、日本社会では体感できない魅力がいっぱいだ。現地で発見した人・物・事をいつか自分の仕事に繋げたい、さらに突き詰めるなら、スペインを拠点にして仕事がしたいと思う人も中にはいることだろう。

では、向こうで実際に仕事を見つけて(作って)活躍するようになるまでは、どんな道を辿るのか。特に駐在ではなく個人での挑戦を考えた時、さまざまな困難も待ち受けている(ビザの問題、言語の壁、仕事に対する価値観の違いなど)。失業率の高いスペインでは、外国人(特にEU圏外)労働者の雇用に対して未だに風当たりが強いのも事実である。容易な道とは言い難いが、叶えたい夢に具体性・計画性がしっかりとあるならば、いい意味で他人との壁がないスペインは、助けてくれる人を見つけやすい国だと言える(もちろん、最低限のスペイン語の能力は必要になってくる)。

今回取材に応じてくれた6人は、各分野で、個人でスペインに挑戦した人たちだ。うち5人は、バリバリとスペイン、時には日本で仕事をこなしている。そして最後に掲載している平岡さんは、まさに今、仕事を実現させるためにサン・セバスティアンで挑戦中だ。

日本だとありがちな柵や人目を気にすることなく、実直に夢を叶えたい、自分の才能を発揮したいと考えるなら、この特集を読んだ後で、あなたもぜひスペインへの挑戦を考えてみて欲しい。

*外務省が毎年実施している「海外在留邦人実態調査」によると、2018年10月時点の在スペイン邦人数は8,192人(永住者3,006人、長期滞在者5,186人)で、5年前の2013年10月(7,547人)から比べると8.5%増加している。中でも長期滞在者は7.4%増加。

CASO

1

Minako

BARCELONA

Traductora e intérprete

通訳・翻訳者／バルセロナ在住

ぶれずにスペイン語一本でやってきたが、
仕事は多く常に忙しい毎日。
そういう運命なのかな、と思っている。

Minakoさんが学生時代によく読んでいた
スペイン語の哲学、文学作品。

スペインへ行くことになった きっかけはなんですか？

大学受験の指定校推薦枠にイスパニア語（スペイン語）学科があり「イスパニア」という響きに惹かれ、京都外国語大学に入学。ここから、スペイン語に打ち込む人生がスタートしました。大学時代には交換留学で1年間バルセロナ自治大学へ。現地の生活スタイルや娯楽と出会いながら、非常にのびのびとした留学生活を送ることができ、卒業後、もう一度同じ大学へ2年間留学。1年目はスペイン語のさらなるブラッシュアップが目的で、2年目からは哲文の授業の聴講もスタートしました。スペイン語は、勉強していて楽しい言葉。動詞の活用も勢いで覚えることができて、とても自分に合っている言語という点が大きかったですね。

仕事をどのように 実現させましたか？

学生時代にバルセロナ留学していた時に、人づての紹介で漫画の翻訳や、声優の演技指導などのアルバイトを始めました。当時からバルセロナは漫画文化が旺盛でした。漫画はそれまで自分もよく読んでいましたが、作品によってはかなりおかしなセリフやダジャレを際限なく訳さなくてはいけなかったので、今はちょっと苦手かも……。プロの通訳・翻訳者として仕事をスタートしたのは2回目の留学から帰国直後。通訳・翻訳会社に登録して仕事を受注し、それからしばらくしてメキシコに2年半滞在して通訳・翻訳をしました。帰国後は日本で6年ほど、製造業、官公庁や刑務所などの公的機関、語学学校で企業向けのスペイン語の講師、NHK取材の通訳など……多岐にわたる業界で通訳・翻訳業務をこなしました。後にフリーランスも始め、さらにさまざまな業界に関わるように。2012年に渡西し、6ヶ月ほどマドリードで暮らした後、夫の仕事の都合でスイスのチューリッヒに2年滞在。スイス時代もネットで仕事を受注し、スペインにも出張していたので、とても忙しい時期でした。2014年にマドリードに戻って3年間暮らし、2017年にバルセロナに引っ越しして現在に至ります。

仕事のお客さんは、どんな人たちですか？
スペイン人：1%　日本人：99%
男性：55% 女性：45%
主な年齢層：40〜50代

バケーションはどうしていますか？

フリーランスなので1日完全に休みという日はありません。夏に帰国した時もがっつり仕事し、7月は日本で大量の翻訳仕事をしています。スペインで家族旅行に出かけている時も、その合間に仕事のやり取りをしているので、旅行中は仕事と旅行の両方しなければいけないのでかなり忙しいです。

バルセロナ北部の海岸コスタ・ブラバは、お気に入りの場所。

スペイン暮らしを振り返って、 性格や考え方に変化はありますか？

大きな影響があったと思います。スペインに住んでいると、明るい人たちと楽しく交流できるだけではなく、時には拒絶や怒りの感情を示さなくてはいけないことがあります。日本のように沈黙が尊重される国ではなく黙っていると自分の意見がないとみなされるので、日本しか知らない頃の自分からすると随分とはっきりとした強い性格になったと思います。その一方で信頼できる人、家族や友人に対してはこれまで以上に優しく、大事にできるようになったと思います。

スペインで幸せな瞬間

仕事でより多くの活躍のチャンスがあること。特にこの仕事をしていると、普段は関われない人との出会いや、入れない場所に行くこともあるので視野が広がります。そして他人を咎める目が少ないです。日本だと、他人の常識の範囲から外れる行為は影で非難されることがありますが、スペインは、自分が自由に生きたいから他人の自由も束縛しない、という考え方が主流で、自己責任で自由に活動できます。

スペインへ行くことになった きっかけはなんですか？

高校時代のアメリカ留学で中南米の人たちと交流したのが、スペイン語に興味を持ったきっかけ。短大時代の1997年に、スペイン語を学ぶために1年ほどスペイン留学しました。マドリード3ヶ月、マラガ1ヶ月、バルセロナ4ヶ月など各地で暮らして、この国の食文化を発見しました。現地料理は日本で知られているスペイン料理とかなり味が異なっていたのでとても驚きました。帰国して短大卒業後は7年間メーカー職についていましたが、食の分野に転職したいと思い野菜ソムリエ協会に勤めた後、スペイン料理に特化して学ぶため2007年に30歳で再びスペインに渡りました。

仕事をどのように 実現させましたか？

その頃はスペインのワーキングホリデービザがまだなかったので、まずドイツのワーホリビザを取って、ドイツの食文化も同時に学びながらスペインに滞在しました。マドリード、サン・セバスティアン、バルセロナでスペイン料理を学び、スペイン人の夫とは、この頃に出会いました。ワーホリ終了後はビザの関係で一旦帰国し、日本で4ヶ月派遣で働き、2008年春に学生ビザでスペインへ再入国。学生ビザはその後も1・2回更新しましたが2009年に結婚したので婚姻ビザに切り替えました。実は再入国してすぐ、まずは一般企業に働いて基盤を作ろうと思い履歴書を送り続けて約半年間の就職活動をしたのですが、結局、就労ビザがないと相手にしてもらえないことがわかり、心身ともに疲れ、それなら自分のやりたい仕事を始めようと思い、2009年4月にスペイン人向けの和食教室を開校しました。その後、日本人向けのスペイン料理教室を主宰しながら、調理学校プロフェッショナルコースを修了しました。

仕事のお客さんは、どんな人たちですか？
スペイン人：10%　日本人：85%　その他：5%
男性：40% 女性：60%
主な年齢層：30〜40代

開校当初は、スペイン人向けにお寿司を含めた一般的な和食レシピを用意しました。スペインもちょうど2009年頃から和食ブームがあって、当初から熱心に通ってくれる人もいました。現在は、比率8：2くらいで、日本人にはスペイン料理を、スペイン人には和食を教えています。日本人の生徒さんは9割5分が女性で、さまざまな理由でスペインに長期滞在で暮らしている人。スペイン人は男女比は半々で、クリスマスシーズンに仲間と作りたいなど、イベントに応じて学びに来ます。リピーターもいて、中には魚を捌きたい、というスペイン人もいるので、そういう場合はより詳しい日本人シェフに依頼して捌き方講座を開いたこともあります。現在、自分自身でもスペイン料理をさらに学ぶため、スペイン人の一般家庭にお邪魔して勉強中。同じ料理でも家庭ごとにかなり味が異なるので面白いですよ。

スペイン人は堅苦しくないけれど、
特にマドリードの住民は強くそう感じる。
この街は日本人を含めてオープンな人が多い。

三浦さんの日本人向けスペイン料理教室では、本場の味を教えている。

バケーションはどうしていますか？

スペインの一般的なバケーションや休日に合わせて、家族で旅行します。私にとって旅行はその土地ごとの食文化を知れる非常にいい機会。車で2時間行くだけでも、食文化はガラリと変わります。

スペインで幸せな瞬間

日本に比べるとスペインは、マドリードやバルセロナなどの都会でもゆっくりと時間が流れているように感じます。日曜日に子供とのんびりと公園を散歩したり、街路樹を丁寧に手入れしたり……誰かが道で転んでもワッと周りの人たちが駆け寄って助けているのを見ると、仕事や約束事があっても目の前の人を助ける、そういう時間の使い方が許される国なんだな、と感じました。

スペイン暮らしを振り返って、性格や考え方に変化はありますか？

今、私はいろいろな仕事を兼業しています。マドリード在住日本人向けに各種現地での生活を豊かにするイベントの開催、旅・グルメ雑誌やガイドブック向けの記事執筆など……昔、スペインで仕事を探して苦労した時代があったので、基本的に忙しくてもNOは言わないようにしています。料理留学していた頃、スペイン各地の食材について、インターネットにも十分な情報がなく自力で探す必要があり、その過程で現地で話し合える在スペイン日本人と出会えたらいいな、今の自分みたいな（スペインに来た日本人を助ける）人がいればいいなと思いました。だから今は、新たにマドリードにやって来た人に積極的に必要な情報を与えて、その先はその人自身でスペイン生活を楽しんでもらえたらいい、と思ってサポートしています。

CASO 2

三浦深雪

Miyuki Miura

MADRID

Profesora de cocina

料理研究家／マドリード在住

私自身も「好きなことを好きな場所で」という考えを持っているが、スペインはそれが実現できる国だと思う。

中井さんのクリニック内の個室は、和風テイストの温かなインテリア。

CASO 3

中井経賀

Tsuneyoshi Nakai

MADRID

Masajista

整体師／マドリード在住

中井さんから『acueducto』読者へ特別に「自宅で簡単にできるペアマッサージ」の動画（スペイン語解説付き）公開中！！

スペインへ行くことになったきっかけはなんですか？

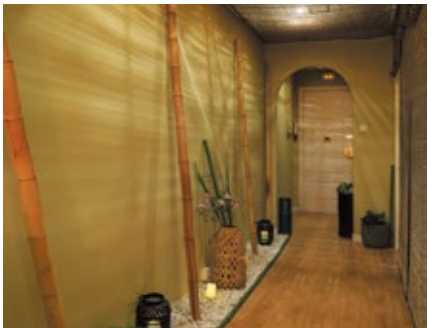
もともと私はプロサッカー選手になりたくて、1998年に19歳でスペイン留学しました。バルセロナ現地の語学学校や大学でスペイン語とサッカーを学びながら、いろいろなチームのテストも受けてみましたが結果は及ばず、2年後に帰国。けれどもこの時スペインのライフスタイルが気に入り、今度はプロの選手を支える裏方になって戻ろうと考えました。留学前には早稲田大学でスポーツ医学を専攻していたのですが、帰国後に復学してから手の技術で病気を治す指圧や整体と出会い、大学卒業後、整体師の経験を積んでから26歳で再びスペインに来ました。

スペイン暮らしを振り返って、性格や考え方に変化はありますか？

仕事ありきの人生ではなく、人生を楽しむための仕事に変わりました。ここではやりたいことを選択して自己実現している人が多いのです。たとえば道端で自由に芸術活動をしている人たちに対して、皆が寛容。そんなことをしたって稼げないのに……と批判的な目で見るのではなく、それぞれが選んだ進路を尊重する。だからこそ、この国ではレベルの高いサッカー選手や芸術家が育つのではないでしょうか。

バケーションはどうしていますか？

昔は夏に1ヶ月間休んでいましたが、最近はあえて2週間に短縮（1ヶ月も休むと仕事のやり方を忘れてしまいます!）。スペイン人は1ヶ月まるまる休む人も多いですが、皆バケーション明けは仕事のペースをすっかり忘れていて、9月ボケがひどい。スペイン人の仕事の生産性が元に戻るのは10月くらいからでは？ただ、中には「バケーション中にしっかり休むからこそ、自由な発想、クリエイティビティが出てきて、休み明けの大きなビジネスチャンスになる」という意見もあります。休みをたっぷり取る国だからこその仕事への考え方で、面白いですよね。



仕事をどのように実現させましたか？

マドリードとバルセロナに全部で2週間滞在し、就職活動を始めました。現在のようなGoogle検索もない時代。イエローページの「Fisio（物理療法）」や「Spa（メディカルスパ）」という単語を追いながら、市内の整体院を調べて、地図を片手に足を運びながらの地道な職探しでした。とにかく、根性ですよ。訪問先では履歴書と、少しでも自分を印象付けようと、折り鶴を置いて帰りました。おおよそ30件くらい回った頃、とうとう雇用してくれる整体院が見つかり、スペインに来てから1年後に就労ビザが下りました。そこでしばらく働いてから自営業ビザに切り替えて、28歳でマドリードに自分のクリニックを開業。けれども日本に溢れている整体院やマッサージ店は、スペインではその存在はほとんど知られておらず、治療マッサージの概念を知らない人が大半です。だから患者さんにその概念を教育するのには苦労します。そこで少しでも治療をイメージしやすいように、仕事中は白衣を着るようになりました。

仕事のお客さんは、どんな人たちですか？

スペイン人：98%　日本人：1% その他：1%
男性：45% 女性：55%
主な年齢層：40〜60代

初めて来院するお客さんのほとんどは「Yoshiのクリニックに来たら治る、よくなると言われた」という、人からの紹介で訪れます。彼らはどんな名前のマッサージ技術でサービスを提供しているか深くは理解していないにも関わらず、友人や親戚が言ったことだけで来院するのは、凄い口コミの力だなと感じました。またある日、日本車を所有している患者さんが「日本の車は壊れないし安全だしとても信頼している。だから、君のことはわからないけれど、きっと日本人の物はいいから信頼するよ!」と言ってくれ、それをきっかけに、急に日本車を買える層からの評判がよくなったのを覚えています。つまり、私のような来た当初は何も持っていなかった青年が、今こうやって外国で生活できているのは、もちろん自分自身の技術もあるだろうけれど、先人の日本人の努力のおかげ。日本人というだけで、すでに信頼という下駄を履かせてもらっているのです。だから私自身も、そのバトンをまた次の人に渡せるように努力しないといけないと思っています。

スペインで幸せな瞬間

生活全般。自分の選んだ道でスペインにやって来て、やりたくないことはしない選択をしてきた結果、気が付けば自分の好きなことして生きる楽しい人生になっていました。

スペインへ行くことになった きっかけはなんですか？

私は幼少期にクラシックバレエ、大学卒業後に中国武術を習い、1990年頃の20代後半にフラメンコを始めました。本場でフラメンコ修行をしたいと思ったのでガイドブックの留学情報も参考にして学生ビザを取り、1999年11月にアンダルシアの州都セビーリャへ行きました。まずは1年間と考えていましたが、以降、現地に滞在して今年で20年目になります。

仕事をどのように 実現させましたか？

私の場合、フラメンコ生活を続けるために新たな仕事を探しました。まずはあん摩マッサージをやってみたもののすぐに勉強の必要性を感じ、セビーリャの指圧専門学校に入学。スペイン語の不自由はあったものの、クラスメートの助けと自身の努力で無事に修了。2004年から指圧マッサージ師の仕事をスタート。また、かつて日本で日本語教師を7〜8年間勤めていたので、その経験を生かして現在も日本語を教えています。現地学校の集中講座を担当することもあれば、オンラインレッスンで教えることもあります。フラメンコダンサー、指圧マッサージ師、日本語教師の3本柱で生活し、それぞれの仕事量のバランスは月によって大きく変わります。たとえば、夏は指圧のお客さんが減るのを見越して他の2つの予定を多めに入れています。パズルを入れ替えるようにして、3つの仕事をうまく成立させています。

仕事のお客さんは、どんな人たちですか？

スペイン人：75%　日本人：20%　その他：5%
男性：25% 女性：75%
主な年齢層：50代

フラメンコを観に来てくれる人は、日本ほどの義理立てがありません。行くよ、行くよと口約束しても気が乗らない、体調が悪い、飲みに行く、などの理由で来ないことも当たり前。逆に来ない予定だったのに来ることもあります。彼らは刹那的な判断を大事にし、何をするのが今の自分にとって最良かを考えています。指圧マッサージの集客は、信用（confianza）が要。だからこそ、まずは人となりを知ってもらう必要がありました。始めた頃は予約をドタキャンされたり、前日にリマインドの連絡を入れないと思い出してくれなかったり、といったことが多かったのですが、何年か続けているうちにお客さんとの間に信頼関係ができて、向こうから予約を忘れないようになりました。

2017年、トリノのレジオ小劇場で開催されたフラメンコ国際コンクール「Flamenco Puro」部門別の決勝の舞台にて。

CASO 4

勝部理子

Riko Katsube

SEVILLA

地元のバル、ライブハウスでの小規模なフラメンコショーは、事前に宣伝はするが基本的に前売券は販売しない。前売券を買わない（＝先の予定の約束をしない）のはセビーリャでは珍しくない。

Bailaora de flamenco

フラメンコダンサー／セビーリャ在住

スペイン暮らしを振り返って、性格や考え方に変化はありますか？

性格は多少は変わってきているでしょうね。日本流の気遣いから外れてきたというか、気になったことや疑問点はすぐに口にするようになりました。日本人が気を遣って「そんなことできない」とやる前から諦めてしまう時、「どうして？」「遠慮せずに聞いたらいいのに」と突っ込んで、スペイン人の理屈で言ってしまうことがあります。他地方からセビーリャに移り住んだスペイン人も言うことですが、セビーリャ人は「アビエルタに見えるけれどセラーダ」。内輪のサイクルからなかなか出てきませんし、有名なFeria de Abril（春祭り）もセビーリャ人のための社交場です。他人の中まで入ってこないので、いい意味で放っておいてもらえますが、逆に干渉して欲しかったら自分からグイグイいかないとだめなんです。

バケーションはどうしていますか？

個人として仕事をしているので、特に休暇期間はありません。不定期に1ヶ月ほど帰国して家族に会いに行き、日本でも仕事（バイレのパフォーマンス、ワークショップ、クルシージョ、指圧、日本語オンラインクラスなど）を続けています。

スペインで幸せな瞬間

¡No pasa nada!（気にするな）の精神に助けられます。自分では深刻だと思っている問題でも、それを言われると楽天的になり、ホッとします。他には、日が長くて朝晩涼しいセビーリャの風土は気に入っています。仕事の後に赤ワインを美味しいなあ、と思って飲む瞬間も好き。

勝部さんのフラメンコ活動は、地元の新聞『Diario de Sevilla』（2018年7月5日付）にも紹介された。

Madre no hay más que ninguna

スペインへ行くことになったきっかけはなんですか？

大学生時代にはプロサッカー選手を目指していましたが、それがダメで「クラブを持ちたい」と思ったのが出発点。当時は日本国内で作ろうと思い、その資金を貯めるため大学院を卒業後IT会社で4年半勤務しました。仕事の傍らで情報収集のためにいろいろな指導者や関係者に会いに行き、その過程でスペイン在住の方々との出会いが多くあったことから、スペイン行きを決意。2011年10月、28歳の時に学生ビザで入国、地中海の街バレンシアを生活の拠点に決めました。

スペイン暮らしを振り返って、性格や考え方に変化はありますか？

日本にいた時は競争していた記憶があります。何かに迫られているような圧力を感じていましたが、スペインに来てそれはなくなりました。いろんな人種の方がいるので、僕らは僕ら、彼らは彼らでいいんだ、あるいはできないことはできないから、次に行こう、と思えるだけでかなり気は楽になりました。

CASO 5

尾崎剛士

Tsuyoshi Osaki

VALENCIA

Entrenador de fútbol

サッカーコーチ／バレンシア在住

サッカー指導者の99%はスペイン人。だから、私のようなアジア人指導者はかなり目立っていると思う。

スペインサッカーカンファレンスin横浜での講演の様子。

レバンテUDクリニック大阪での指導の様子。

仕事をどのように実現させましたか？

まずは、バレンシアに着いて3日目から地元クラブでアシスタントコーチとして活動を始めました。その1年後に指導者学校に入学して2年間通い、サッカー指導者ライセンスIIまで取得しました。この間も所属クラブでの試合観戦やアシスタントコーチとしての経験を積みながら勉強させていただき、実際に自分が初めて第一監督としてチームを任されたのはスペインに来て3年目で、契約先はバレンシアの街クラブのジュニアチーム。以来、2019年現在まで3つのクラブを渡り歩き、コーチを続けています。

学生ビザから個人事業主ビザに切り替える時は、その変換の情報がなく非常に苦労しました。失業率の高いスペインでは外国人が就労ビザを取ろうとすると「雇用を奪う」と思われがちで、たとえばスペイン人の雇用を確保した上で申請しないと通りにくいなどの暗黙の条件があり、これらの書類の準備、切替の条件を揃えるために弁護士を頼らざるを得ませんでした。1年かけて個人事業主ビザを取得して現地で出会ったスペイン人のビジネスパートナーとバレンシアで起業し、現在まで二人三脚で仕事を続けています。

仕事のお客さんは、どんな人たちですか？
スペイン人：50%　日本人：50%
男性：50% 女性：50%
主な年齢層：20〜50代

バレンシアのジュニアチームのコーチのほか、貿易、留学・遠征コーディネーター、日本クラブのアドバイザーも兼業しています。毎年夏や年末年始は日本に帰国して、高校生へのサッカー指導や全国大会まで出場したらそのチームの監督、指導者向け講習会、さらに現在はバレンシアのレバンテUDとも契約しているのでそのプロモーション活動も行なっています。サッカー指導については、スペインの子供たちと日本の子供たちを教える時、接し方は大きく異なります。スペインでは、私がスペイン語で説明したことに対してさらに質問を重ねてくるので、どんどん喋らなければいけない。くだらないことでもグイグイきます。距離感がとても近く、彼らとの関係は一緒に物を作っていくひとつの家族のようなもの。私自身も指導中に、家族なんだから、何かあったらお互いにすぐに助け合おう、気を使おう、という言い方をよくします。日本の子供たちは教えられ慣れているので、学びに対して受け身の態度。だから別の意味で、私が喋り続けなければいけません。彼らとの関係は「指導者と生徒」という立場ではっきり線引きされているように感じます。

バケーションはどうしていますか？

スペインの休暇のたびに日本に帰国して仕事をし、スペインに戻ったらリーグ戦がまた始まる……という日々なので、まとまった休みはほとんど取っていません。ただ、自分の自由に時間が使えますし、拠点にしているバレンシアは大きな公園やおしゃれな場所も多く子育てもしやすい環境なので、楽しいことは日常的に経験できていると思います。

スペイン・バレンシアにて自チーム（トレンテCFのU-19）の指導をしている尾崎さん。

スペインで幸せな瞬間

家族との時間を十分に取れるところ。ここは子供と高齢者をとても優遇してくれる国です。電車内でタトゥーのたくさん入ったお兄さんがおじいちゃんに席を譲るのが日常風景。外国人の子供に対しても優しいです。見ず知らずの他人でも、赤ちゃんを見かけたら話しかけてくれたりあやしてくれたりします。いい意味で他人との垣根がなく、街や地域全体で子育てをしていると感じます。

スペインへ行くことになった きっかけはなんですか？

初スペインは、2002年のガウディ・イヤーでバルセロナに2〜3週間滞在した時。当時26歳、貧乏旅行で食事はパンとサラミばかりで、まだスペインのご飯の本当の美味しさを知りませんでした。この時は、地中海の空の青さと太陽の高さがとても印象に残っていました。その後、スペインとはしばらく縁がなかったのですが、ある日、徳島の阿波踊りイベントで、ちょうど日本を一周中のケルト人と知り合い、彼にエル・カミーノを歩くことを強く勧められ、さらに、たまたま好きな映画監督が撮ったカミーノの映画『星の旅人たち』が公開され……いろいろな偶然が重なり、これはぜひ歩かなければ、という想いに駆られて40歳になる年にカミーノを歩きました。

巡礼者として旅していると、現地の人たちはとても優しくしてくれて、そこでスペインにまた新しい印象を抱きました。ログローニョで初めてピンチョスに出会い、とても小さなこの食べ物へかけられた情熱にものすごい感動を覚えました。その後も、いろいろな土地の料理を食べましたが、巡礼中にバスク料理の評判を聞いてぜひと思い、巡礼後にサン・セバスティアンを訪れて毎日食べ歩き&食い倒れ。この街は、綺麗な海もあり、山もあり、非常に暮らしやすくてすっかり気に入ってしまいました。その後、移住を決めるまでサン・セバスティアンを数回再訪し、やはり住むならここがいいな、と判断して長期滞在へ。そこそこ発展している観光地なのでここなら仕事もあると思いました。2019年秋現在は、ちょうど長期滞在を始めて1年ほど経ったところです。

どんな仕事を しようと思いますか？

サン・セバスティアンでどんなニーズがあるか考え、いろいろなバルやレストランを食べ歩いているうち、日本の包丁を使っているお店が結構あることに気付きました。ただ彼らは正しい扱い方を知らないので包丁の刃がボロボロになっていました。それを見て、日本人の私がここで切れ味の悪くなった包丁を生き返らせたいと思い、研ぎ師になろうと考え、研ぎ方を習いました。でも本当は研ぎ師になるよりも、包丁を彼らに販売したい。私の好きな言葉で「金鉱でスコップを売れ」というものがあります。つまり、これだけ食文化の発展している場所だから、調理道具を売る商売がいいんじゃないか、と思っています。将来的には、本業で目指しているものと別に、包丁ビジネスにも力を入れたいと思っています。

CASO 6

平岡正徳

Masanori Hiraoka

SAN SEBASTIÁN

Sidrero

シドレリアコンサルタントを目指して就職活動中／サン・セバスティアン在住

Día de San Sebastián（1月20日）にとあるソシエダで撮影。

平岡さんが通う現地のシドレリアの内部。レストランが併設されていて、シードルと地元の料理をたっぷり堪能できる。

シードルを日本に普及させたい。食文化の発達しているスペインで調理道具を売ることも考えている。たとえば、日本の包丁。

本業として実現させようと しているものはなんですか？

2018年1月に移住者歓迎国のオランダにいて、最初はこの国に住んでスペインで働くという方法も検討していました。けれども、冬のオランダは人柄も気候も冷たくご飯もそんなに美味しくないという印象で……同じ月にたまたまサン・セバスティアンのシドレリアに行ったら、そこのご飯は非常に美味しい、雰囲気もまた楽しい、体験型アトラクションみたいなところも面白い、隣の人が普通に話しかけてくれる、オランダとは180度違うと感じました。

シードルはアルコール度数も低いし、そのリンゴの甘みと酸味の効いた味自体も好きになりました。さらに今は日本で法律が変わってアルコールが製造しやすくなり、クラフトビールもヒットしていますよね。日本にりんご農園はたくさんあるから、シードル製造のポテンシャルも高いはずなので、サン・セバスティアンで修行をして、日本に普及させるシドレリアコンサルタントを目指しています。まだ同じものを目指している人がいないので、この分野のパイオニアになれたらいいなと思います。そこで現在、修行のため雇用してくれるシドレリアを探して就職活動中です。何件か問い合わせていたら、スーパーでも目にする老舗シドレリアが興味を持ってくれました。もし雇用が決まって就労ビザが下りたら、ここでこれからも長く生活して、シドレリアの知識やノウハウを身につけていきたいと思います。

スペインで幸せな瞬間

バル文化を楽しめること。ニューヨークやパリなどの他国の都会なら、それなりにお金を払えば美味しいものが食べられます。それに比べるとスペインは、気軽に安く、とても美味しい料理を食べることができるという点で異なります。サン・セバスティアンの街が安全で日が長いということもあり、老若男女問わず住民がバルで楽しんでいて、夜遅くまで子供たちだけでサッカーを見に来ていたり、おばあちゃんたちだけで出歩いてバルに来ていたり、そんな自由で温かい文化にも魅了されました。

Más información sobre ellos

6人にもっと聞いてみた

Minako

通訳・翻訳歴15年以上
2012年～スペインで働く
バルセロナ在住

BARCELONA

お気に入りの場所

カタルーニャのコスタ・ブラバ地方：フランス国境近くの海岸地。アテンドでお客さんをここに連れて行くこともあります。

バルセロナ旧市街：バルセロナ自体、開放感があって独特のオーラがあります。旧市街の雰囲気や新市街の街並みも好き。ここは地中海の開かれた文化とカタルーニャの中世的、閉ざされた内陸の文化が共存していて、とても面白い街です。

スペイン語の学習歴

［日本］
京都外国語大学スペイン語学科
［スペイン］
バルセロナ自治大学
大学受験時代からすでにスペイン語の勉強の仕方を自分で確立していました。留学の派遣試験を受ける時は、オーディオルームで毎日スペイン国営放送Telediarioのリスニング、ウィスパリングを続けました。資格は、スペインに行くまでに西検3級を取って、大学卒業後にすぐスペイン語検定2級（2003年）を取り、2回目の留学から帰国してから1～2年後にDELE C2を取得しました。スペインでは『El Mundo』などのスペイン語の新聞全面に毎日目を通しました。単語帳を作るというより、とにかくインプットの量をこなしていき、何度も出てくる単語や表現を覚えるようにしていました。現在、辞書は学生時代から持っている和西辞書やRAEを使っています。

スペイン語習得のブレイクスルー

大学生の頃から今まで何度もブレイクスルーしたと感じた瞬間はあったと思います。ただ語学は生き物で、日々努力しないと忘れるので、ブレイクスルーしたと思っても、またレベルが落ちたり上がったりの繰り返しです。

スペイン人の横顔

――スペイン人も非を認めたら謝る――

「スペイン人は謝らない」と思い込んでいる人がいたら、それは違います。仕事のできる人、賢い人ほど自分の悪い点を理解してしっかり謝ります。逆に「日本人は謝りすぎ」という話は周りで聞いたことがないので、そう思うのは日本人の自虐かもしれません。

仕事スタイル、ココが違う！

日本人は仕事上で持続的な質の向上を目指しますが、スペインでは、人によると思いますが、その場で仕事が終わったらそれで完結して、その後の売上アップや質の向上を考えないことが多いです。先輩・後輩など日本のような上下関係はなく、仕事仲間なら友達口調で接し、フラットな関係を築くことができます。

Miyuki Miura

料理研究家歴11年
2009年～スペインで働く
マドリード在住

MADRID

お気に入りの場所

レティーロ公園：緑の中の大きな公園は、子供のいる身としてありがたいです。

Lavapie地区：アフリカや中東の人たちの多い地域です。さまざまな人種が集まっているので、外国に来たような雰囲気があります。

スペイン語の学習歴

［日本］
独学
［スペイン］
大学（バルセロナ外国人コース、コンプルテンセ外国人コース）、私立の語学学校
短大時代は少し文法書を読んだ程度で、ほぼ何も知らない状態でスペインへ。最初はスペイン人が何を話しているのかわからず、とにかく辞書を読み漁りました。最初に通った大学付属コースは日本で情報収集して見つけ、その後、現地で紹介してもらった私立の語学学校へ。2007年に再び来た時は、学生ビザの関係で語学学校に行く必要があったのでビザの取りやすかった別の学校で勉強しました。
スペインのTV番組は、1ch 20:30の「Aqui la Tierra」を家族で毎日見ています。ニュース番組ですがスペイン各地の食文化を紹介しているのでまさに自分にぴったり。

スペイン語習得のブレイクスルー

結婚してからますます必然的に使わなければいけない言語になって、始めは親戚の人でも言っていることがわからなくて、その場にいるのも嫌になることもありましたがヒアリング力はこの時に鍛えられました。そしてまた壁にぶつかっての繰り返し。話す時に優しい単語を選んでくれる人、ネイティブの感覚で話しかけてくる人、後者だとやはり難しいな、と感じます。

スペイン人の横顔

――食への飽くなき探究心――

スペインでは街中のおじさん同士でも、何を熱心に話しているんだろうと耳を傾けると、だいたい皆食べることの話ばかりしています。スペインは国内自給率90%以上と云われ、安くて良質な国産の野菜、魚介やお肉を入手できます。

仕事スタイル、ココが違う！

私自身がスペインの一般企業に勤めていないので、他人（夫や友人）からの情報ですが、スペインの企業では、目標を共有して足並みを揃えることがありません。男性も女性も自分のポジションを守るために個人主義です。日本と違って仕事の引き継ぎもほぼありません。

【プロフィール】
マドリード、サン・セバスティアン、フィレンツェにて料理を学ぶ。休暇があればスペイン・ポルトガル各地に旅行し現地の味を探求している。スペイングルメの記事の執筆、きき酒師。マドリードにてスペイン料理教室主宰。
ameblo.jp/spainfoodmarket

Tsuneyoshi Nakai

整体師歴18年
2005年～スペインで働く
マドリード在住

MADRID

お気に入りの場所

バルセロナ：サッカー観戦や家族旅行で訪れます。マドリードやバルセロナでは、世界最高級のサッカー選手たちの生試合が観れます！

サン・セバスティアン：豊かな食文化や気候が快適。

メノルカ島：2019年夏に初めて家族旅行で訪れました。海が綺麗で天候もよく、手つかずの自然が残されている美しい島。

スペイン語の学習歴

［日本］
早稲田大学の第2外国語クラス
［スペイン］
バルセロナの私立の語学学校、バルセロナ大学（サッカー留学時代）。
スペインに来てまもない頃はアレハンドロ・サンツの音楽を繰り返し聴きました。映画館にもよく通いました。今は、新聞をたまに買って読むくらいです。

スペイン語習得のブレイクスルー

まだしていないと思います。患者さんとの意思疎通は5年くらい経ってからかなりできるようになってきたと感じていますが、ネイティブなみの言語センスを習得するのはやはり難しいです。

スペイン人の横顔

――スペイン人も疲れている――

日本にいるとスペイン人はフィエスタやバル飲みを楽しんでいるので疲れ知らず、というイメージを持つかもしれませんが、実際にはマッサージをした方がいいくらい疲れている人は多いです。彼らもよく動き、働いているので、肩こりや腰痛など日本人の患者さんと同様に疲れを溜めています。

仕事スタイル、ココが違う！

顧客対応にムラがあります。否定的な意味ではなく、無理して笑顔を作らずに、素直にその時の感情を見せています。もちろん仕事ではプロフェッショナルとしてサービスすることも大切です。けれども労働者側も同じ家族がいる人間。店員の顔色が悪そうであれば、お客さんの方から「大丈夫？」と声をかけてあげるなど、スペインでは両者間で対等な関係が築けていると思います。お互いに相手を尊重するのは商売の基本です。

【プロフィール】
「一流サッカー選手をマッサージしたい」そんな思いを抱き渡西。空き時間にはスペイン人やサッカー留学生と好きなサッカーをしたり観戦したりしながら、整体院を経営する。当初の夢を叶えた今、「安心とリラックスをあなたの生活に」という理念を持ち、今後新たに事業展開を考えている。
www.shiatsuyoshi.com
youtube チャンネルにて
健康情報発信中

Riko Katsube

フラメンコダンサー歴15年
2004年～スペインで働く
セビーリャ在住

SEVILLA

お気に入りの場所

Alameda de Hércules:バル系が集まっているセビーリャ市内の地区。

スペイン語の学習歴

［日本］
個人の先生(ネイティブ)
［スペイン］
私立の語学学校、セビーリャ大学付属インスティトゥト・デ・イディオマス
スペインではトータルで3年ほど習いました。シェアアパートで外国人やスペイン人と同居して、そこでも語学力を鍛えました。
最近買った「ANAYA ESPAÑOL LENGUA EXTRANJERA」練習問題シリーズを現在愛用中。

スペイン語習得のブレイクスルー

その瞬間は覚えていませんが、友人同士との日常会話は問題なし。ただ数年前に指圧を教えて欲しいと言われた時、実技と一緒にスペイン語で理論を教えなければならず、すごく気を遣いました。定冠詞や動詞の変化を誤魔化さず、ちゃんとした言葉で伝えようとすると、今でもやはり大変だなと思います。

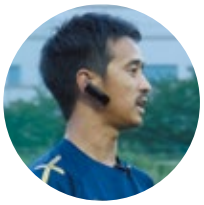
スペイン人の横顔

――陰と陽の二面性――
実はセビーリャにはうつ病が多いです。社会不安などのさまざまな要因で精神的に考え込んでしまう人もいます。一方ではNo pasa nadaというひとつの答えを導き出して、彼らはうまくバランスを取っているのかもしれません。「スペイン人はいつでも陽気」ではなく、その内面はもっと複雑です。

仕事スタイル、ココが違う!

仕事の力量に個人差があります。現場では仕事を非常に熱心にしている人としていない人が一緒にいます。知り合いでレストランに勤め始めた人に、研修はあるの？　と聞いたらない、初日から自己流にやらないといけない、と言います。どうすれば、何をすればいいの、と聞いても「¡Buscáte la vida!(自分で探せ!)」と言われてしまいます。当然、仕事の質もばらつきが出てくるのに、それで回っているのがすごいです。

【プロフィール】
不定期の短期帰国時には、フラメンコライブ、ワークショップ(クルシージョ)を中心に活動。昨年好評だった舞台 "Sin hij@s" の改訂バージョンやフラメンコを通して日本文化あるいは自分を表現する舞台作品の制作を計画中。フラメンコを初めて見る人たちも楽しめるスペイン文化レクチャーも取り入れたパフォーマンスの展開も視野に入れている。
お問い合わせ:
rikokatsube@gmail.com まで。



Tsuyoshi Osaki

サッカーコーチ歴4年
2016年～スペインで働く
バレンシア在住

VALENCIA

お気に入りの場所

サッカーグラウンド:自分のクラブ、お世話になったクラブ、プロ・街を問わず、スペイン各地のさまざまな試合を観ています。
サン・セバスティアン:仕事柄よく行く場所。
マヨルカ島:2～3回行ってとても楽しかった場所。ゆっくり過ごせます。

スペイン語の学習歴

［日本］
一切なし
［スペイン］
私立の語学学校
5年間通って、A1クラスからC2クラスまでレベルアップ。学校の外ではNHKのスペイン語ポッドキャストを毎日聴いていました。またアシスタントコーチとしてグラウンドに立って、他の指導者の話を聞きながら出てきた表現をメモして後で意味を聞くなど、現場でもスペイン語力を鍛えていきました。

スペイン語習得のブレイクスルー

滞在3年目で初めて第一監督になって指導するタイミングの時。自分が指示を出さないとチームが壊れてしまうので、とにかくずっと喋っていました。あまり自分で言葉が間違っているかとか気にする暇もなく、その場で伝えなければいけないことをひたすら言い、チームの皆も意図を汲み取ってくれていたと思います。

スペイン人の横顔

――相手の心の機微を察するのがうまい――
そう感じる場面がよくあります。たとえば試合で負けた時、仕事がうまくいっていない時、辛いことがあった時にハグをしてくれて、大丈夫だよと励ましてくれます。指導しているクラブの子供たちでさえ、こちらが落ち込んでいると「何かあったの」と声をかけてくれます。

仕事スタイル、ココが違う!

日本人に仕事を依頼するのと同じ感覚でスペイン人にするとメ切を守らなかったり、書類に不備があったりといったことが頻繁に起こります。だから明日がメ切の書類は「今日中に」1週間後は「明日までに」と前倒しで依頼します。署名や住所の間違いも日常茶飯事なので提出された書類には必ず目を通さないといけません。逆に、日本人の時間や書類作成の正確性は素晴らしいです。

【プロフィール】
サッカー選手、指導者の留学、チーム、グループ遠征、現地の指導者だからできるコーディネイトがあります。スペインと日本を同時に指導しているから、プロクラブで仕事をしているからわかること、お互いのよさを引き出す方法を余すことなくお伝えします。日本での講演会、クリニックも随時募集しております。
お問い合わせ:
info@pulsense.es まで。

Masanori Hiraoka

シドレリアコンサルタントを目指し就職活動中
サン・セバスティアン在住

SAN SEBASTIÁN

お気に入りの場所

ウリア山:ハイキング、トレッキングにうってつけ。ロングコースを3時間歩くと隣町まで行くことができます。
ウルバサ:自然豊かな森の公園で、まるでもののけ姫の森のような景色。犬を飼っている友達と一緒に散歩に行くと、犬がとても野性的になって生き生きと走り回ります。

スペイン語の学習歴

［日本］
新宿の語学教室
［スペイン］
私立の語学学校
現在通っている語学学校ではB1のクラスで勉強中。日本人の留学生が増えていて彼らと出かけることもあります。日本人コミュニティはちょうど私が住み始めた2018年頃から広がってきているなという印象です。

スペイン語習得のブレイクスルー

久しぶりに会う地元の友人にだいぶ会話が上達したと言われた時や、会話をする際、頭の中で作文せず、何も考えずに言葉が出てくる時にそう感じました。

スペイン人の横顔

――即席討論会――
初めてスペインに来た時、1人のおばちゃんにどこのバス停で降りたら近いか尋ねたところ、おばちゃんが隣のおばちゃんに相談し、そのおばちゃんは隣のおじちゃんに相談し、あっという間にバス中全員での討論会みたいになったのが印象的でした。

仕事スタイル、ココが違う!

プライベートとは反して、労働スタイルにはサービス精神がないと感じることがあります。スペインのバルでは店にもよるが、注文したものをメモを取らず記憶していたり、お客側からの申告制だったりして、驚きました。バスクでは正直が美徳だと聞いたことがあり、納得しました。

スペイン在住の日本人6人。6 Japoneses en España スペインで為せば成る!

"Querer es poder"

今回取材に応じてくれた6人は、日本とスペインの住環境、労働に対する考え方の違い、そして、スペイン国内でも州によって風土性が大きく異なることを教えてくれた。一概に「スペイン」と述べても、そこは多様な人種・宗教・思想の人たちが共存している国際的に開かれた社会だ。仕事の選択も方法もマニュアル主義ではなく個人主義で多様性を受け入れる国がスペインだ。

そしてもちろん、スペインで暮らす、働く、ということはいい面ばかりでもない。自分で創意工夫をして仕事を生み出していくという気概は必要だろう。取材した皆さんも、スペインの高い失業率、外国人労働者のビザの問題、日本社会の常識（遅刻しない、物を丁寧に扱う……）がこちらでは通用しないなど、さまざまな社会不安や苦労話を語ってくれた。

異国の地で働くことに困難はつきものだが、そこで何より大切なのは、たとえ言葉が拙くても、自分の意思をはっきりと相手に示すことだ。感情でも、疑問でも、スペインでは思ったことをちゃんと口にすることが、自分の人となりを相手に知ってもらい、信頼関係を築くカギとなる。

最後に、共通して回答を得られたスペイン人の主な3つの国民性をまとめておこう。

口コミの力

スペインでも「知人・友人からの紹介」効果が強烈に働く。1人がサービスを気に入ってくれたら、その人の口を通して一気に顧客が増えるということも十分あり得る。今回ご紹介した人たちも、スペイン人の顧客は友人の紹介で増えていった、と答えてくれた。これから仕事を見つける場合でも、現地で頼れる知人・友人を見つけて、彼らの紹介で積極的にたくさんの人に会って顔を広げていくことでチャンスは増えていくだろう。

寛容精神

スペイン人の呪文は"Poco a poco"（少しずつやっていこう）、"No pasa nada"（大丈夫だよ、気にしなくていいよ）。仕事がうまくいかなかった時に落ち込んだり、ナーバスだったりするとスペイン人たちはそう言ってリラックスさせてくれる。自分では深刻だと思っている問題でも、彼らの励ましで気持ちが楽になる。失敗した人を責めすぎない、当事者の心の安らぎを大切にするのが、懐の深いスペイン人たちなのだ。

家族愛

スペイン人はとにかく家族と過ごす時間を大切にする。それゆえに、他人の家族への気遣いの精神も生まれてくる。家族のことで何かあったら男性でも仕事よりもそちらを優先できるケースが多く、不安ごとがあると知ると、むしろお客さんから「仕事を休んで家族のそばにいてあげなさい、私たちは待っているから」と言われることもある。週末は家族と過ごして、会社や仕事を優先することはあまりないのが一般的だ。

「スペイン人と日本人は対照的で、お互いのいいところを足して2で割ったら最高なのに」という声も聞いた。励まし上手・褒め上手・盛り上げ上手なスペイン人、彼らの魅力に肌で触れながら、自由な風土で自己研鑽していく……新天地を目指しスペインで次に輝くのはあなたかもしれない。

clic
Centro de Lenguas e Intercambio Cultural

International House
Sevilla, Cádiz y Málaga

スペインのエッセンスがつまった セビリア、カディス、マラガで語学留学

- 語学教育と講師養成コース等で世界的に定評のある**International House**メンバー校
- **1**週間の短期から長期までご希望のコース期間が選択可能
- **DELE**試験開催校（年**3**回）として安心と信頼の**DELE**対策コース
- 現地日本人スタッフによる安心のサポート

Instituto Cervantes
Centro Acreditado

CLIC International House Sevilla, Cádiz y Málaga
クリック・インターナショナルハウス・セビリア、カディス＆マラガ
Email: japan@clic.es（日本語でどうぞ）
www.clic.es/jp（日本語サイト）

IALC

Vol.4

日本の素材でスペイン料理

オリーブオイル１本あれば！

エンパナディージャ

「外国の料理を作る時は、材料にこだわらなくてはいけない」という人には睨まれそうだけど、私が前からやってみたかったことがあります。それは、「餃子の皮で、エンパナディージャを作る」という実験です。

ガリシアの郷土料理エンパナーダといえば、肉や魚を入れたパイのような料理ですが、これには小さく作るエンパナディージャというバージョンがあり、手軽なこともあって他の地方でも普及していたり、それどころか南米では、その国の代表的な家庭料理になっていたりします。特に南米での変化の仕方は、中身もいろいろ、味付けもいろいろ。辛い味のものもあるところが、いかにも南米という感じです。スペイン人は一般的に辛いものは苦手ですから。

このエンパナディージャの皮は、エンパナーダと同じように小麦粉やオリーブオイルで生地を用意してしばらく冷蔵庫で寝かしてから丸く伸ばして作るわけですが、そうなると、手軽に作ろうというイメージではありません。でも、このエンパナディージャ、餃子に似ていませんか？　もし餃子の皮を買ってきて作ってもいいのなら、とても気軽においしいタパスが楽しめるのでは？

というわけで試してみたら……なかなかの出来栄えです！　特に焼きたては十分おいしいので、ご紹介します。

スペインのエンパナディージャの中身は、基本的にはエンパナーダとほぼ共通で、肉でも魚でもなんでもかまいません。ただ、入れられる量が少ないので、小さく刻んだものを入れること。今回は、一番人気のツナとひき肉で。味付けはもちろん、パプリカ味です。

この時、具に加えたいのがサルサ・デ・トマテ（トマトソース）。この基本のトマトソースはとても簡単で冷蔵庫で1週間くらい保存できますから、ぜひ常備して、いろいろな料理に活用してくださいね。

それから、今回のようにオーブンで焼くバージョンのほうがヘルシーで最近は人気ですが、もともとは油で揚げる料理です。オリーブオイルでカリッと揚げるのも、ぜひ試してみてください。白ワインにぴったりですよ。

レシピ

Empanadilla
エンパナディージャ

○材料

餃子の皮
（できれば大きめのもの）・・・・・・・・・1袋
卵・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1個

A＜共通の具＞
オリーブオイル・・・・・・・・・・・大さじ4
玉ねぎ（粗みじん）・・・・・・・・・・半個

B＜ツナの具＞

*トマトソース・・・・・・・・・・・・・・大さじ4
ツナ缶・・・・・・・・・・・・・・・・・1缶
塩・・・・・・・・・・・・・・・・・・・適量
パプリカパウダー・・・・・・・・・・・・小さじ2
ゆで卵・・・・・・・・・・・・・・・・・1個

C＜ひき肉の具＞

ピーマン（粗みじん）・・・・・・・・・・1個
豚ひき肉・・・・・・・・・・・・・・・・200g
*トマトソース・・・・・・・・・・・・・・大さじ4
塩・・・・・・・・・・・・・・・・・・・適量
パプリカパウダー・・・・・・・・・・・・小さじ2
ほうれん草
（塩ゆでしてから2cm程度に切る）・・・・1束

*トマトソース（以下の材料を混ぜて作る）
トマト水煮缶・・・・・・・・・・・・1缶
オリーブオイル・・・・・・・・・・・大さじ4
砂糖・・・・・・・・・・・・・・・・小さじ1
塩・・・・・・・・・・・・・・・・・小さじ1/4
パプリカパウダー・・・・・・・・・小さじ1

○作り方

1 Aのオリーブオイルと玉ねぎでソフリートを作る。
2 それぞれの具ごとに1に残りの材料を加えていく。Bのゆで卵だけは火からおろしてから加えること。
3 2をバットに移して冷ます。
4 餃子の皮の中央に具を軽く大さじ1杯程度のせ、具の周りの皮に溶き卵を塗ってから閉じる。フォークで周りを押さえる。
5 表面にも溶き卵を塗ってから、200℃に予熱したオーブンで3分から5分焼く。少しこんがりしたらできあがり。

1 A＜共通の具＞

2 B＜ツナの具＞　C＜ひき肉の具＞

渡辺 万里
Mari Watanabe
大学時代にスペインと出会い、その後スペインで食文化の研究に取り組む。1989年、東京に『スペイン料理文化アカデミー』を開設しスペイン料理、スペインワインなどを指導すると同時に、テレビ出演、講演、雑誌への執筆などを通して、スペイン食文化を日本に紹介してきた。「エル・ブジ」のフェランを筆頭に、スペインのトップクラスのシェフたちとのつきあいも長い。著書は『毎日つくるスペインごはん』（現代書館）、『スペインの竈から・改訂版』（現代書館）、『修道院のうずら料理』（現代書館）、など。
academia-spain.com

スタッフは全員留学経験者
入学手続き0円で代行！ スペイン留学.jp

都市、学校・コース、滞在方法、
費用、学生ビザ、ワーホリビザ
準備方法等を詳しく
ご説明いたします！

参加者プレゼント★
スペイン留学.jp
オリジナルグッズプレゼント！

スペイン・中南米 留学セミナー 大阪

2019年
11月2日（土）9:30 ～
11月25日（月）14:30～
12月2日（月）14:30～
12月14日（土）9:30 ～
2020年
1月6日（月）14:30～

※セミナーとカウンセリングは
完全事前予約制です。

参加ご希望の方は必ず事前にお申込ください。
左の日時以外でも随時個別カウンセリングを受け付けております。

スペイン語教室ADELANTE 大阪校
〒530-0001
大阪市北区梅田2-5-8 千代田ビル西別館2F

いつかスペイン語圏に留学してみたいな～
という あなたへ！お気軽にご参加下さい♪

お問合せはこちら
www.spainryugaku.jp info@spainryugaku.jp
06-6346-5554（大阪本社）
受付時間：月～土 8:30～21:30 スペイン留学.jp（有限会社ADELANTE）

確かな技術と音楽する心を育てる
吉川二郎ギター教室
初心者歓迎！
コンサートフラメンコギター
クラシックギター ＆ ギタルパ
花屋敷教室（宝塚市）
東京教室（月1回）
静岡教室（月1回）
ギター・ギタルパサークル富士（富士市）
お問合せ・入会のお申込みは
TEL&FAX.072-793-8684
詳しくはホームページで
吉川二郎 検索

京都スペイン料理
Tio Pepe
京都市左京区北白川久保田町
52番地 AMUZA26 1F
TEL 075-72-3440

スペインタイルの総付け教室
＆手作りタイル販売
スペインタイルアート工房
Tokyo/Osaka
大阪市西区南堀江 1-20-23-1003
Tel & Fax 06-4390-6545
Email: spaintile@japan.email.ne.jp
http://spaintile.art.coocan.jp/

スペイン菓子
サン・オノフレ
〒851-2106
長崎県西彼杵郡時津町左底郷290-1
TEL: 095-860-8180 FAX: 095-860-8181

Pasteleria Dulce Mina
スペイン菓子工房
ドゥルセ・ミーナ
ーポルボロン、トゥロン手作りの店ー
茨城県守谷市ひがし野3-11-2
TEL 0297-45-2740
http://dulcemina.jp/

「これ、美味しい！」を通じて、
日本とスペインの架け橋に
Estarico Japan Co., Ltd.
株式会社エスタリコ・ジャパン
東京都港区高輪 1 丁目 4-23-1401
03-3443-9580
akihiro@estarico-japan.com
https://www.estarico-japan.com

京都 ティオペペ カサ エスパーニャ
Kioto Tio Pepe Casa España
スペイン各地方のビール・
ワインを取り扱っております
京都市左京区北白川久保田町
52番地 AMUZA26 101
TEL 090-1912-1263
Tio Pepe

紅茶専門店
紅茶教室
Lakshimi
KOBE JAPAN
〒650-0004 神戸市中央区中山手通 2-4-8
078-391-8841 https://lakshimi.jp

acueducto に
広告を掲載しませんか？
料金一例
1コマ（4.5cm×4.5cm）
¥5,000- / 掲載1回分
✓サイズ・料金は、acueductoWEBよりご確認ください
www.acueducto.jp/publicidad

✓お申込み
お申込みの際は、ご希望のサイズと
掲載希望号をご連絡ください。
※広告の掲載場所を指定することはできません
※金額は税抜です
【お問合せ・お申込み先】
有限会社ADELANTE
Tel: 06-6346-5554 Fax: 06-6110-5122
info@acueducto.jp

発見！留学先の宝びと

留学先で皆さんが出会う、現地の心温かいファミリーと頼もしい語学仲間。今回は、ホームステイ先のご家族と現地スペイン人との交流を深めた留学経験者3名に、cariñoな想い出話を聞きました。

ありがとうスペインのパパとママ！

都市：サン・セバスティアン
期間：10週間
学校：ラクンサ

A.Sさん（30代）

知ってる？　食事の後に話をすることを『sobre mesa』っていうのよ

と教えてくれた70代のホストマザー。私が滞在していた時、家にはビルバオ出身の男の子もいて、食卓では3人で、お互いの母語を教え合いました。

緊張していた時「通学バスの中で深呼吸しなさい」、テスト前に根詰めている時にも「¡Tranquila!」、とホストマザーは励ましてくれました。柔軟で穏やかなその生き方はとても素敵で、私も彼女のようになりたいと思うようになりました。ある日「La experiencia es la madre de ciencia」と言われ、「ciencia＝科学」と認識していたから、初めはどういう意味かわかりませんでした。でも、話していくうちに「知恵という意味？」と聞いてみると、「そう！」と。「経験は知恵の母」という意味でした。それがわかった時、感動で涙が出ました。今回の留学の目的も、その言葉通り、人生の経験を増やしたかったから。この話を彼女とすることも必然だったんだ、と感じました。

都市：サラマンカ
期間：4週間
学校：ドンキホーテ

M.Sさん（50代）

「とにかくしゃべりなさい」といつも言われていました（笑）。

夫婦2人の家にステイ。できるだけ話すようにしていたのですが、口数が少ないと思われていた様子。夕食の時、学校の授業や日本のこと、家族のことなどを聞いてくれました。他にも日本の昔話、ニュース、育てている野菜など……話題は幅広かったです。ホストマザーとはほぼ毎日、夕食前に1時間ほど一緒に散歩して、サラマンカの町のいろいろなところを見ながら説明してもらったり、おすすめのお店を教えてもらったり、思いつくままに話していました。とても楽しかったし、いい運動になりました。学校の宿題でわからないことを質問すると、夫婦で一生懸命説明してくれて本当にありがたかったです。ホストファザーは冗談が好きで、よく面白い話をしてくれていましたが、わからない時もあって、「それはどういう意味？」とよく質問していました。テレビを一緒に見ることもありました。本当の家族のように接してくれていました。

都市：サラマンカ
期間：8週間
学校：ドンキホーテ

Y.Aさん（50代）

日本から持ってきた自分の家族の写真をママに見せました。

両親や子供の話をすると盛り上がりました。ステイ中は一緒にママの故郷の町に行き、そこに住んでいるママのお姉さんにも会えて、地元の美味しい店や町の由来などの話も聞けて有意義でした。また別の機会にはママのお友達も一緒にバルに出かけることもありました。

日本から持ってきた寿司海苔とすし酢、現地調達した米、わさびなどを使ってママやその時一緒にホームステイしていたドイツ人のお別れ会に手巻き寿司パーティをしました。皆で一緒に買い物して、一緒に作ったので、国ごとの野菜の種類や切り方を知ることができて面白かったです。

私はホームステイ3週間の後、学生アパートに5週間滞在しました。引っ越してからもママに会いに行き、お花を持っていくと喜んでくれました。

帰国後、日本らしいうちわに手紙を書き、スマホで撮った写真も一緒に送りました。

はげましてくれたアミーゴたち！

留学中、インテルカンビオ（言語交換）があり、日本語を学んでいる現地の人との交流の機会がありました。ここで知り合った人たちと、お祭りに行くことも。授業中は、自分のスペイン語に自信を失くすことも多くありました。でも、インテルカンビオで知り合ったスペイン人たちに

「¡Hablas muy bien!」と褒められたことで、少しずつ自信をつけることができました。

お酒の力を借りるのも、私にとっては緊張を解く、良い方法のように思います（笑）。バルに1人でいる時も隣の人が話しかけてくれたり、バスの中でも自然に会話が生まれたりすることもありました。

私はもともと言語交換・学習アプリを利用していて、そこで知り合った人に日本語を勉強をしている学生がいたので、実際にカフェで会って言語交換をしました。彼が日本語の教科書や動画などでわからないところを私が説明して、私は学校の授業やテレビなどでわからないところを質問していました。

わかっているはずの日本語をスペイン語で説明するのはなかなか大変でしたが、いい勉強になりました。

日本についての質問に答えられない時があったので、自分の国についてもっと知るべきだと感じています。

バルを1軒決めて、ほぼ毎日のように行っていました。次第にお店の方が声をかけてくれるようになり、そこの店の常連客の方たちとも少し話ができるようになりました。

トルティージャ・デ・パタタスを作った話をすると皆、自分の家の作り方を熱く語っていました。

また、ある映画のDVDが欲しいと常連客の1人に言うと、他のお客さんも一緒にスマホで調べてくれて、中古で売っている店を教えてもらい、0.5€で買えて嬉しかったです。ステイ先のママの友人の娘で、日本語を勉強中の方とも知り合い、帰国後もWhatsappで言語交換しています。

学校の遠足アクティビティで
パンプローナへ！牛追い祭り！

歴史都市をエンジョイ！

ホームステイ先で
手巻き寿司パーティ

留学したからわかったこと！！

学校の授業がレベルアップすると、様々な社会問題について意見を問われる機会が増えていきました。例えば「日本の環境問題」や「男尊女卑」が取り上げられたこともありました。私は、今までそうしたテーマについて言語化して掘り下げて考えたことがなく、うまくスペイン語で表現することができず、苦手意識を持ってしまいました。

他の国の学生たちは、先生から質問された時に「自分の国では……」とすぐに答えます。10代の人たちも、はっきりと意見を持っていること、自国のことをよく理解していることに、圧倒されてしまいました。

スペイン語でどう表現するか、というよりも、まずは自国の問題に対し、しっかりと問題意識を持ち、自分の意見を言葉にすることが課題だな、と思いました。

日本人は意見を言うことにあまり慣れていないので、「あなたはどう思う?」と聞かれた時にすぐに答えられない場合が多いと思います。

でも、海外だと日本のように察してくれることはほとんどありません。

授業でも意見を聞かれることが多いので、自分が思うことをはっきりと表現することが必要だなといつも思います。

スペイン語の授業でも、他の国の学生は躊躇せずに自分の意見を表現しますし、他の人と違った意見でも気にしません。日本人は人と違うことを気にすることがあると思いますが、違っていて当然だと思ってしまえば気にならなくなります。他の国の学生の多面的で柔軟な考え方に学ぶことが多かったです。スペイン人から日本についての質問に答えられない時があったので、自分の国についてもっと知るべきだと感じています。

語学学校には国も年齢もいろいろな方々がスペイン語を学びに来ていました。私よりずっと年配の方も、元気で好奇心いっぱいに楽しそうにされていて、自分の将来のお手本になりそうな方も多かったです。語学学校の先生によると、その先生が教えた最高年齢の方はなんと93歳だったそうです。

「歳だから」と思わずに私もやりたいことをどんどんやっていこうと思いました。

私はラグビーが好きなので、地元の試合を見に行きました。ラグビーという共通の好きなスポーツがあると、スペイン語は上手に喋れなくても、コミュニケーションできるとわかりました。でも、話したいことがない時や、苦手な相手と話す時は、会話が途切れがちでした。コミュニケーションには相手と内容が重要なんだと改めて感じました。

エストレマドゥーラ州メリダのローマ劇場
留学中にはぜひいろんな場所に足を運んで◎

留学費用例 Tarifas para estudiar en España

皆さんが一番気になる留学費用の例をご案内。街や学校、滞在先によっても大きく異なります。

［共通項目］ ●グループレッスン週 25 ●ホームステイ（1 人部屋・2 食付・バス共同） ●共同アパート（1 人部屋・食事無・バス共同）

1 €＝ 120 円で計算

espanolé | International House Valencia **エスパニョレ IH バレンシア**

2週間 ［グループレッスン］	440€	¥52,800		合計	1ヶ月 ［グループレッスン］	880€	¥105,600		合計
ホームステイ	410€	¥49,200	850€	¥102,000	ホームステイ	820€	¥98,400	1.700€	¥204,000
共同アパート	300€	¥36,000	740€	¥88,800	共同アパート	600€	¥72,000	1.480€	¥177,600
2ヶ月 ［グループレッスン］	1.760€	¥211,200		合計	6ヶ月 ［グループレッスン］	4.440€	¥532,800		合計
ホームステイ	1.640€	¥196,800	3.400€	¥408,000	ホームステイ	4.920€	¥590,400	9.360€	¥1,123,200
共同アパート	1.200€	¥144,000	2.960€	¥355,200	共同アパート	3.600€	¥432,000	8.040€	¥964,800
1年 ［グループレッスン］	8.880€	¥1,065,600		合計					
ホームステイ	9.840€	¥1,180,800	18.720€	¥2,246,400					
共同アパート	7.200€	¥864,000	16.080€	¥1,929,600					

右ページのスカラーシップ利用で
さらに割引して留学ができます▶

spain 留学 ryugaku .jp スペイン・中南米への留学は スペイン留学.jp

ご希望に合った学校選びや、プランの作成など幅広くお手伝いしております。漠然とイメージされている留学プランや目的・期間・ご予算など、まずはお気軽にご相談ください。

お役立ちの留学情報を多数掲載！

2020年スペイン留学応援キャンペーン

ADELANTE スカラーシップ

スペイン留学.jp(有限会社ADELANTE)で留学手続きした方限定!
とてもお得な割引きです!この機会をお見逃しなく♪♪

対象:2020年1月1日~4月30日に現地に滞在する方

a

エスパニョレ IH バレンシア

70 € OFF
(¥8,400)

●滞在期間:2週間~

b

エスパニョレ IH バレンシア

140 € OFF
(¥16,800)

●滞在期間:1ヶ月~

c

エスパニョレ IH バレンシア

280 € OFF
(¥33,600)

●滞在期間:2ヶ月~

d

エスパニョレ IH バレンシア

960 € OFF
(¥115,200)

●滞在期間:6ヶ月~

e

エスパニョレ IH バレンシア

1920 € OFF
(¥230,400)

●滞在期間:1年~

f

エスパニョレ IH バレンシア

土曜日の日帰り遠足 1 回無料

●インテンシブ25へ2週間以上
お申込みの方

g

ラクンサ IH サン・セバスティアン

90 分個人レッスン無料

●4週間以上コースお申込みの方
●月1回、最大3ヶ月まで
●先着3名限定

h

スペイン留学.jp(有限会社ADELANTE)

留学前のスペイン語レッスン5%OFF

●個人レッスン16回(1レッスン50分 / 自由予約制)
●期間:お申込日~4ヶ月
●料金:105,640円(税込)+教材費
●校舎:ADELANTE大阪校&神戸校

※ⓐ~ⓕの併用は不可。エスパニョレ IH バレンシアのコースはインテンシブ25へ2週間以上お申込みの方限定。
※滞在費、登録料、宿泊手配料、海外送金手数料は別途必要です。1€=120円で計算(2020年度の料金表を元に作成)。
※割引金額の日本円は請求書発行日の三菱UFJ銀行TTSレートを採用いたします。

資料請求/お問い合わせ
www.spainryugaku.jp
info@spainryugaku.jp

5都市にご相談窓口
大阪 ☎ 06-6346-5554 | 神戸 ☎ 078-230-2022 | 名古屋 ☎ 052-766-6406
東京 ☎ 03-6869-6435 | 福岡 ☎ 092-517-9535 | 受付時間 月~土 8:30-21:30

有限会社 ADELANTE

スペイン留学.jp

行きたい場所と学校探し!

留学準備の第一歩は、学校を探すことから始まります。
国ごとに異なる特色を持った魅力溢れるスペイン語圏。
お気に入りの街が見つかれば、より充実した留学生活に!

España

スペインにある91校の語学学校と提携しています。

❶ サン・セバスティアン
San Sebastián

バスク地方独自の文化が息づく街。「美食の都」として有名で、美味しい魚介類やピンチョスが堪能でき、数多くのバルが軒を連ねる通りはいつも賑わっています。

❷ サラマンカ
Salamanca

1218年に創立されたスペイン最古の大学がある学生の街。カテドラル、大学、貝の家、マジョール広場など美しい建物が多く、旧市街全体が世界遺産に登録されています。

❸ マドリード
Madrid

プラド美術館や王宮など見所いっぱいのスペインの首都。ショッピングやバル巡り、アート観賞も楽しめます。スペインの中心に位置し他の都市へのアクセスも良好。

❹ セビーリャ
Sevilla

太陽と青い空がのスペイン南部、アンダルシア地方にある街。少し足を延ばすと、絵ハガキのような白い村が点在し、陽気でのんびりとした空気を肌で感じることができます。

❺ カディス
Cádiz

古くから貿易の拠点として栄え、西ヨーロッパで最古の街といわれる。夏は海水浴やウォータースポーツも楽しめます。また好天の多い恵まれた気候も特徴です。

❻ マルベージャ
Marbella

コスタ・デル・ソルの中でも特に人気がある高級ビーチリゾート。美しい公園や庭園、世界トップクラスのゴルフコース、絵のように素晴らしい景色が広がる旧市街があります。

❼ バルセロナ
Barcelona

独自の歴史と文化を育んできたカタルーニャの都。ガウディやダリなど数多くの著名人を輩出。「芸術の街バルセロナ」には、今も至る所に多くの芸術作品が残されています。

❽ パルマ・デ・マジョルカ
Palma de Mallorca

バレンシアの東約80kmの地中海沖合にあるバレアレス諸島で最も大きな島。晴天の日が多く、天候と美しい自然に恵まれ「地上の楽園」と呼ばれる人気のリゾート地です。

❾ バレンシア
Valencia

「火祭り」とパエリア発祥の地として有名な、スペイン第3の都市バレンシア。地中海性の温暖な気候で過ごしやすく、ビーチリゾートとしても知られています。

❿ アリカンテ
Alicante

海と山に囲まれ、美しいビーチが点在する都市アリカンテ。コスタ・ブランカと呼ばれる地中海の海岸沿いに位置し、1年を通して穏やかな気候で知られています。

⓫ グラナダ
Granada

アルハンブラ宮殿のある世界的に有名なグラナダはアラブ文化の名残を留める古都。大都市にはない落ち着いた美しい街並みが素晴らしく、訪れる価値があります。

⓬ マラガ
Málaga

コスタ・デル・ソルの中心地として有名なリゾート地。ピカソの出身地としても有名で、街にはピカソの生家や美術館もあります。国際空港があり、便利なアクセスも魅力。

⓭ テネリフェ
Tenerife

大西洋にあるカナリア諸島に属する島。年間を通して暖かく、常春の島とも呼ばれます。毎年2〜3月行われるカーニバルは世界的に有名。島の至る所でパレードが見れます。

手続きはカンタン! >>>

まずは国・都市の情報収集をし、行き先や学校、滞在期間を決めましょう。学校のコースや滞在方法など、なんでもご相談ください。カウンセリングから入学手続き代行、ご出発までサポートしますのでご安心ください。代行手数料は無料です。

① 情報収集・カウンセリング

「何からはじめればいいの?」「どの街がおすすめ?」「費用はどれくらい?」など漠然とイメージされている留学プランや、目的・期間・ご予算など、まずはお気軽にご相談ください。

② 行き先・学校・期間を決める

どんな留学生活を送りたいかをイメージしてみましょう。都会で学びたい、海がある街が良いなど自分に合った街を選ぶと留学生活もさらに充実!

Latinoamérica

中南米にある12ヵ国23都市の語学学校と提携しています。

❶ メキシコ
México

首都はメキシコシティ、北アメリカ南部に位置する連邦共和制国家。北にアメリカ合衆国、南東にグアテマラ、ベリーズと国境を接し、西は太平洋、東はメキシコ湾とカリブ海に面しています。スペイン語圏において最も人口の多い国で、マヤやアステカの遺跡など歴史的な見所がたくさんあります。

❷ キューバ
Cuba

キューバは西インド諸島最大のキューバ島とその属島フベントゥ島などのサンゴ礁の小島群からなる社会主義共和国です。1492年にコロンブスが到達して以来、スペインによる植民地支配下に入りましたが、1898年の米西戦争におけるスペインの敗北を機に、1902年に独立を達成しました。

❸ グアテマラ
Guatemala

グアテマラは古代マヤ文明発祥の地であり、紀元前2000年には、すでに人々は生活を営み、アメリカ大陸で最も発達した文明のひとつとなりました。この国の特徴は人口の大半が先住民とメスティソ(混血)の子孫だということ。中南米諸国の中でも先住民人口の比率が特に高い国です。

❹ ドミニカ共和国
República Dominicana

ドミニカ共和国は1492年コロンブスの第1回航海で発見され、スペインの植民地開発が初めて行われた地です。西側で国境を接するハイチがフランスの影響を強く受けているのに対して、ドミニカ共和国はスペイン的要素と20世紀以降のアメリカ的要素が多く見られます。

❺ コスタリカ
Costa Rica

コスタリカは南西部で太平洋、北東部でカリブ海に面しており、北方でニカラグア、東方でパナマとそれぞれ国境を接しています。人口450万ほどの小さな国でありながら、中米で1人当たりの国民総生産が最も高い国。また国土の1/4を自然保護区に指定しており、環境保護に力を入れています。

❻ コロンビア
Colombia

コロンビア共和国、通称コロンビア、首都はボゴダ。南アメリカ北西部に位置する共和制国家です。ブラジル、メキシコに続き、コロンビアは中南米で第3位に人口が多い国です。主要産業はコーヒー、バナナ、さとうきび、じゃがいも、米、熱帯果実、石油、石炭、エメラルドなど。

❼ エクアドル
Ecuador

エクアドルとはスペイン語で赤道を意味し、その名の通り赤道直下に位置します。国民の大半がメスティソ(混血)または原住民の子孫。小さな国ながら、積雪した火山、アマゾンの熱帯雨林など地形は非常に豊か。ホエール・ウォッチング、カヤックなど多岐に渡るアクティビティが体験できます。

❽ ペルー
Perú

南アメリカ大陸の太平洋沿岸中部に位置するペルー共和国。かつてはインカ帝国繁栄の地であり、植民地時代にも南アメリカの政治や経済、文化の中心として栄えた歴史を持ちます。ペルーには世界的に有名なマチュピチュ、ナスカ、モチェ、インカ文明の魅惑的な遺跡が多く残っています。

❾ ボリビア
Bolivia

ボリビアの国名は、独立運動の英雄シモン・ボリーバルの名にちなんだもの。世界で1番標高の高い町ラ・パスや世界一標高が高く泳ぐことができるチチカカ湖があります。ボリビアは南米でも貧しい国のひとつですが、魅力的な習慣と伝統が豊かな文化を作り上げています。

❿ ウルグアイ
Uruguay

国土面積が日本の半分ほどの小さな国ウルグアイ。気候は温暖で年間を通して過ごしやすいです。治安・生活・教育水準も安定しており、広大な草原地帯を活かした農業、牧畜業が盛んです。穏やかな環境下、国民も自由にのんびりと暮らしています。興行・文化活動も盛んで、サッカー、音楽、ガウチョ体験を楽しめます。

⓫ チリ
Chile

南北に細長く伸びる特徴的な国土のチリ。アルゼンチンやウルグアイと同じく、ヨーロッパからの移民の子孫が大半を占めています。ビーチや活火山、アンデス山脈と豊かな自然に囲まれています。チリはその細長い地形から気候も地域によってかなり差があります。

⓬ アルゼンチン
Argentina

ブラジルに次ぐ南アメリカ第2の大国。国民の大半はヨーロッパからの移民の子孫です。この国の特徴はイグアスの滝、アンデス山脈、パンパス平原や砂漠など自然の恩恵を存分に受けていること。美しい地形のアルゼンチンはアウトドアスポーツが好きな人にとって最適な国です。

3 コース・滞在方法を決める
授業料などは公表している正規の料金を、現地通貨のままご案内しています。滞在方法は、ホームステイや共同アパート(ピソ)など、ご自分にあった滞在スタイルをお選びください。

4 手続き代行 申込書の記入
指定の申込書にご記入の上、スペイン留学.jpへご提出ください。お申込み内容を確認後、正式に学校への申込み手続きを開始。お申込書の記入は日本語だけでOK!

5 渡航準備
航空券や保険、また学生ビザが必要な方は、申請に必要な書類を集めて所定の機関へ提出します。
※ビザの申請代行や航空券、海外旅行保険などの手配はサポートに含まれません。

6 留学費用のお支払い
留学費+海外送金費(6,500円)を日本円で指定口座へご入金ください。外貨建ての金額は請求書発行日のTTSレートを基準に換算します。

出発

¡Vamos a hablar español!

スペイン語で話そう

Lección 21

最上級
el/la más ... que,
el/la menos ... que

最上級：「…は最も〜だ」

¡Hola! みなさん、こんにちは。前回は比較級を学びましたが、今回はその続きで最上級（「…は最も〜だ」）の作り方を学習しましょう。基本形は「定冠詞 + más/menos + 形容詞」です。前回登場した不規則変化もおさらいしておきましょう！

最上級 ①基本の表現

主語 + 動詞	定冠詞 + más + 形容詞	比較対象のグループ	
Yo soy	el más alto	de la clase.	私はクラスで最も背が高い。
Ella es	la más inteligente	de sus amigas.	彼女は友人たちの中で最も賢い。

主語 + 動詞	定冠詞 + menos + 形容詞	比較対象のグループ	
Yo soy	el menos alto	de la clase.	私はクラスで最も背が低い。
Ella es	la menos callada	de sus amigas.	彼女は友人たちの中で最も大人しくない。（＝最もうるさい）

例）Catalina es la más guapa de estas tres mujeres. この3人の女性の中ではカタリナが最も美人だ。
La casa de Paolo es la más pequeña en nuestro pueblo. 私たちの村ではパオロの家が最も小さい。

最上級 ②不規則変化の表現（mejor, peor, mayor, menor）

主語 + 動詞	定冠詞 + 最上級の不規則変化	比較対象のグループ	
Él es	el menor	de sus hermanos.	彼は末弟（＝最も年下）だ。
Ellos son	los mejores profesores	de la universidad.	彼らは大学で最良の先生方だ。

例）La economía de aquel país es ahora la peor del mundo. あの国の経済は現在、世界最悪だ。
El abuelo de José es el mayor de toda la ciudad. ホセの祖父は街で最年長である。

絶対最上級

スペイン語には語尾に -ísimo, -ísima をつけて「ものすごく / 最高に〜だ」と表現する絶対最上級があります。比較対象のグループ中で一番だというよりも、どちらかというと話者の感動や衝撃を表現したい時によく使います。定冠詞はつけません。

例）¡Muchísimas gracias!
本当にありがとう！
Mi gatito es monísimo.
僕の子猫は最高に可愛い。

「最大」「最小」

máximo と mínimo はそれぞれ「最大の」「最小の」を意味する形容詞です。

例）correr con la velocidad máxima
最大速度で走る
el mínimo tiempo para empezar
スタートに必要な最短時間

スペイン語教室 ADELANTE
・目的やペースに合わせて選べるコース
・ネイティブ講師だからプチ留学気分で自然なスペイン語がマスターできる！
・振替ができるので忙しくても安心！
・月謝払い制度
・一般参加 OK な特別クラス開講
無料体験レッスン
教室見学など
随時受付中！
スペイン語教室 ADELANTE
大阪校 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田 2-5-8 千代田ビル西別館 2 F
TEL: 06-6346-5554 FAX: 06-6110-5122
神戸校 〒651-0084 兵庫県神戸市中央区磯辺通 1-1-18 カサベラ国際プラザビル 9F
TEL: 078-230-2022 FAX: 078-230-2023

AVANZAMOS A1
● 日本の学習事情を考慮して作られた西語で西語を学ぶ入門者向けテキスト
● 個人授業 / グループ授業 使用可
● 充実の 104P（オールカラー）・CD 付
● ¥1,980（税込）
アデランテショップで好評販売中！
www.adelanteshop.jp

使えるスペイン語を学ぼう

Español práctico vol.15

旅行や留学で使える実践的なスペイン語を学ぶコーナー。第 15 回では、スペイン語圏で就職活動をする方向けに履歴書の書き方を紹介します！

Eso es todo acerca de mí...

履歴書の書き方

スペイン語圏の履歴書は日本のようにフォーマットがきっちりと決まっていません。そのため、より就職希望者の個性を出しやすくなりますが、読みやすさを意識することが重要です。基本的に掲載するべき項目のスペイン語を覚えましょう。手書きは NG です。

1 Curriculum Vitae (CV)

3 Natalia García Cruz

4 Dirección: C/Mundillo 4, 28002 Madrid
5 Teléfono: +34 914 XXX XXX
6 E-mail: nataliagc@adelante.jp
7 Fecha de Nacimiento: 17/05/1987
8 Nacionalidad: Española
9 Sexo: Feminino
10 Estado civil: Soltera

11 Presentación

12 Formación académica

2010-2012	**Máster en Relaciones Internacionales, Seguridad y Desarrollo** Universidad XXX de Madrid
2007-2010	**Licenciatura en historia y ciencias sociales** Universidad XXX de Madrid

13 Experiencia laboral

2015-2019	**Diseñadora e ilustradora** Patatasbravas Studio, Barcelona
2013-2014	**Coordinadora de actividades** Asociación Social M.J.K., Tarragona
2012-2013	**Recepcionista atención al cliente en inglés** Carlos Soler Corporación, Madrid

14 Idiomas

español	lengua materna
inglés	nivel superior
italiano	nivel inicial

15 Otras habilidades

Word, Excel
Photoshop
Illustrator

16 Información Adicional

Carné de conducir
Dispinibilidad absoluta para viajar

1 履歴書
2 顔写真 (Foto de perfil)
3 氏名
4 住所
5 電話番号
6 E メール
7 生年月日
8 国籍
9 性別
10 戸籍上の身分
11 挨拶文
12 学歴
13 職歴
（最新順に書く）
14 言語能力
15 スキル
16 備考（趣味や特技など）

★簡潔で見やすいレイアウトを心がけよう

海外の履歴書デザインには厳密なルールがありません。何をどんな形で載せるかは自由です。たとえば英語能力について「上級」と書くか「会話と聞き取りは上級、読み書きは中級」とより詳しく書くかは人それぞれです。しかしフォーマットがない分、特に経歴の部分で長ったらしくなりがちです。採用担当者にとっては、必要な情報だけを見やすく載せた短い書類の方が好印象です。経歴アピールも大切ですが、情報の取捨選択を意識して作成しましょう。

vocabulario

就職活動の関連用語をいくつか覚えましょう。

búsqueda de trabajo	就職活動
ofertas de trabajo	求人情報
agencia de empleo	就職相談所
entrevista	面接
examen de reclutamiento	採用試験
pedir una cita	アポを依頼する

スペイン語講座 Lección 39

今回のテーマ

接続法の用法(2)

Usos de subjuntivo (II)

前号では名詞節内での接続法を取り上げましたが，今号では引き続いて副詞節での接続法の用法を見ていきましょう。流れとしては，①常に(または原則として)接続法が使われるケース，②直説法と接続法の使い分けが必要なケース，と大きく前半と後半に分けて説明します。

まず常に接続法を取る副詞節ですが，「目的」が最もわかりやすいでしょう。目的の接続詞には，para que, a fin de que, con el fin de queなどがあります。

Señor cliente: Tomaremos medidas con el fin de que este error no vuelva a ocurrir.
お客様：二度とこのような間違いが起こらないように対策を取るつもりです。

続いて条件の副詞句でも接続法が使われます。代表的な接続詞は，como, con tal (de) que, a condición de que, en (el) caso de que, a no ser queなどです。ただしsiという接続詞を使った構文だけは別格と考えてください(33号参照)。

Te pediré la colaboración en caso de que yo la necesite.
必要な場合は君に協力を頼むだろう。

「否定」を表現する接続詞句sin queの後にも接続法が使われます。当該の事象が実現されないのですから。

Vamos a entrar en la habitación sin que nadie nos vea.
誰にも見られることなく部屋に入ろう。

ところで，porqueやya queといった「原因」の副詞節はその意味合いから直説法が使われます。ただ，接続法が使われるケースもあるので例を見ておきましょう。

No hablo con él, porque yo estoy enfadada.
私怒ってるんで，彼とは話さないわ。

No hablo con él porque yo esté enfadada.
私怒ってるから，彼と話さないというのではないの。

前者の例では否定のnoが文の最後まで影響しません。それに対して後者の例ではporque以下にも否定が及びます。porque以下の「怒っている」ことは否定されているので接続法が使われます。

さて，後半では直説法と接続法の両方の可能性があるケースを見ていきましょう。譲歩の代表的な接続詞はaunqueです(a pesar de que, pese a queもほぼ同じ意味です)。場合によって直説法または接続法が使用されます。

Vamos de excursión aunque llueve hoy.
今日雨が降っているが遠足に行こう。

Iremos de excursión aunque llueva mañana.
明日雨が降ったとしても遠足に行こう。

前者では「実際に」雨が降っているので直説法，後者では明日のことで「まだ未確定」なので接続法が使われます。つまり，「事実」ならば直説法，「仮定」なら接続法です。しかし、事実であるのに接続法が使われることもあります。

Aunque sea española, Carmen no baila flamenco.
スペイン人なのにカルメンはフラメンコを踊らない。

この例では直説法esも可能です。では，あえて接続法を使うのはどんな理由と効果があるのでしょうか。カルメンがスペイン人であることは話し手も聞き手も知っていることです。そこでこれを主張する必要はありません。この事実を「前提」として後半部を際立たせて主張するために接続法が使われるのです。

譲歩の接続詞の中には常に直説法を取るものもあるので注意が必要です。a sabiendas de que, y eso que, si bienなどです。

Si bien Andalucía es la imagen típica de España, otras regiones norteñas son también muy atractivas para los turistas
アンダルシアはスペインの典型的イメージではあるが，北部地方もまた観光客にとても魅力的である。

「時」の副詞の代表はcuandoですが，siempre que, una vez que, mientras, en cuantoなど実に多様です。原則として当該の事象が起こっていれば直説法，未確定であれば接続法が使われます。

En cuanto salga la convocatoria de la plaza de ayudante, avísemelo sin falta.
助手の職の募集が出たらすぐ私に知らせてください。

時間の前後関係を表す表現としてantes (de) queとdespués (de) queがあります。前置詞のdeが入る場合と入らない場合があります。方言や個人の好みに依り，スペインではde入りが普通のようです。

Antes de que me olvide, te doy mi nueva dirección.
忘れる前に君に新しい住所を伝えておこう。

Después de que terminen los Juegos Olímpicos, se destruirá ese estadio.
オリンピックが終わるとそのスタジアムは取り壊されるだろう。

antes (de) queの場合は，節内の行為はまだ実現していないので常に接続法が使われます。一方，después (de) queの場合は，両方の可能性があります。上記の例は未実現なので接続法現在ですが，その行為が既に実現している場合は直説法過去になります。

Después de que terminaron los Juegos Olímpicos, se destruyó ese estadio.
オリンピックが終わった後，そのスタジアムは取り壊された。

ただ実際にはこのような既に起こっている(つまり事実である)場合でも，接続法が使われることがあります。その場合は上記の例文は"Después de que terminaran los Juegos Olímpicos, …"となります。この用法は特にスペインで見られるジャーナリズムの文体だと云われています。理由として様々な説があるのですが，「オリンピックが終わった後」は副次的な情報で，後半の「そのスタジアムが取り壊された」に話者の力点が置かれているのだと解釈できます。desde queについても同じ現象が起こります。

副詞句内での法の選択は，直説法と接続法の両方可能なことが多いので学習者にとっては悩みの種です。しかし，両方が可能な場合でもどちらを使うかによって意味やニュアンスが異なるのが普通です。ですから個別の用法を例文とともに確実にものにしていくのが学習の王道ではないでしょうか。

仲井 邦佳 / Kuniyoshi Nakai
立命館大学産業社会学部教授。専門はスペイン語学。著書に『はじめてのエスパニョール』(共著、三修社)、『中級スペイン語―文法と演習―』(共著、同学社)などがある。

ビジネス スペイン語

NIVEL 中級(B2)以上

Vol.20

この10月から消費税が8%から10%にアップし軽減税率の適用を巡る煩雑さや、消費者の買い控えによる景気の悪化懸念などが取り沙汰されています。そこで、今回は普段あまり目に触れない税金に関わる表現と用語を学ぶことにします。

伊藤 嘉太郎先生
Yoshitaro Ito
長年の海外経験を活かし、大学でのビジネススペイン語非常勤講師などを歴任。

☑ 例文や注釈からさまざまな税金関連の用語を覚えてください

ejemplo 1

En Japón el aumento del 8 al 10% del impuesto sobre ventas causó múltiples polémicas en torno a su aplicación, aunque existen muchos países en Europa donde su tasa llega a más de un 25%.

日本では 8%から 10%への消費税アップが、その適用を巡って 多くの議論を引き起こしたが、一方ヨーロッパではその税率が 25%を超える国が多くある。

ejemplo 2

El impuesto sobre sociedades es un tributo que grava sobre los beneficios de las empresas y otras personas jurídicas logrados por sus actividades operativas.

法人税は企業や法人がその営為活動によって得た利益に賦課される租税である。

ejemplo 3

El impuesto sobre la renta de persona física se aplica de tipo progresivo, dicho de otra manera, cuanto más dinero gana un individuo, paga este impuesto con un mayor porcentaje.

個人所得税は累進課税制で、言い換えると、個人の収入が多ければ多いほど より高い税率の税金を支払う。

ejemplo 4

Dicen que en Japón el impuesto sobre sociedades es alto comparativamente con otros países, lo que representa una barrera bastante grande para la entrada de empresas extranjeras altamente conscientes de la fiscalidad internacional.

よく言われることだが、日本では法人税が他の国々と比較して高く、国際税務の意識が高い外国企業の参入にはかなり高いハードルとなっている。

ejemplo 5

El 66% de las donaciones de particulares puede desgravarse del impuesto sobre la renta, siempre y cuando el importe de éstas no represente más del 20% de la renta imponible.

個人の寄付の 66%は個人所得税から控除できるが、その寄付金額が課税所得の 20%を超えないことが条件である（スペイン税法より引用）。

いかがでしたか。日・西とも税務関連用語は日常使い慣れないとすぐには頭に浮かばないですね。本講座は今回で最後です。ご愛読ありがとうございました。

ejemplo 1

❶ el impuesto sobre ventas：売上税とも言う
国によってはimpuesto al valor añadido / agregado（略称IVA：付加価値税）とも表現。さらには impuesto de ventasという言い方もある
❷ múltiples polémicas：数多くの議論
別の表現ではdiversas disputas / controversias
❸ en torno a su aplicación：適用に関して
aplicación はimplementación に置換えもできる
❹ su tasa：料率のことだが“税金”の意味もある⇒税率
tasa de interés（利率）, tasa de paro（失業率）

ejemplo 2

❶ el impuesto sobre sociedades：法人税
“sociedades gravadas”は課税対象の会社
❷ tributo que grava：tributoは税金，gravaは課税する，gravamenも税金，ad valoremは従価税，“sistema / régimen tributario”は税制
❸ personas jurídicas：法人。日本ではその括りの中に営利法人として株式会社，合名会社，合資会社などが含まれる。別の括りの公法人には特別行政法人や特殊法人などがある
❹ sus actividades operativas：事業活動

ejemplo 3

❶ el impuesto sobre la renta：所得税
確定申告は“la declaración de la renta”
税金の支払いは“el pago o satisfacción del impuesto”
国税庁は“agencia tributaria”
❷ persona física：個人。persona natural（自然人）とも言う
❸ tipo progresivo：累進型，impuesto progresivoのこと
反対語はimpuesto proporcional（比例税）
❹ cuanto más dinero gana...paga con un mayor porcentaje：～すればするほど～だ，と言う比例比較

ejemplo 4

❶ barrera：障壁，バリアー。“barreras arancelarias”は関税障壁，“barreras no arancelarias”は非関税障壁
❷ la entrada de empresas extranjeras：外国企業の参入
外国企業は“...foráneas”とも言う
❸ la fiscalidad internacional：国際税務，“paraíso fiscal”はタックスヘイブン，租税回避地。“ahorrar impuestos”節税する
ちなみに多国籍企業“empresas multinacionales”の国際税務戦略はITを駆使した税務工学“ingeniería fiscal”が土台

ejemplo 5

❶ las donaciones de particulares：個人の寄付，贈与，寄進
“impuesto sobre donaciones” 贈与税，donativos も寄付と同義
相続税は“impuesto sobre sucesiones/ herencias”
❷ desgravarse：控除される，名詞 desgravación，
同義語 deducirse (deducción)，減税 “rebaja de impuestos”，
免税 “exención de impuestos”，脱税 “evasión / fraude fiscal”，
資金洗浄 “blanqueo de capitales”
❸ siempre y cuando：～である限り，を前提として（動詞は接続法）
❹ la renta imponible：課税所得，“la base imponible”も同じ意味

もっと詳しく知りたい方は...
中級ビジネス スペイン語特別講座

【対象者】
現役のビジネスパーソンでビジネススペイン語力を高めたい方、
将来スペイン語を使った仕事に就く予定・計画のある方、
スペイン語のステップアップとして実践的なスペイン語学習を求める方

【講座内容】
ビジネス関連情報の読み取り方、顧客への自社業務・担当業務の説明、
E-mail による社内外とのコミュニケーション等

【講座概要】
計 6 講座（各 90 分）
定員：4 ～ 5 名の少数クラス
（最小実施人数 3 名）
講師：伊藤嘉太郎
場所：スペイン語教室 ADELANTE
大阪校｜神戸校

スペイン語 ADELANTE
www.adelante.jp

【お問合せ】スペイン語教室ADELANTE　大阪校 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田2-5-8 千代田ビル西別館2F　TEL: 06-6346-5554　FAX: 06-6110-5122
神戸校 〒651-0084 兵庫県神戸市中央区磯辺通1-1-18 カサベラ国際プラザビル9F　TEL: 078-230-2022　FAX: 078-230-2023

イラスト解説

スペイン語慣用表現

vol.10

原案 / Francisco Torregrosa　翻訳・イラスト / Nagisa Miyata

スペイン語のユニークな慣用表現をご紹介。今回取り上げる職業は医者（médico,médica）です。腕のよい医者、よくない医者、それぞれの医療現場で対照となる表現を学びましょう。

Buscar por debajo de las piedras

Tirar la toalla antes de tiempo

Buscar por debajo de las piedras

石の下にも隠れていないか探す→くまなく検査する

患者に隠された病気はないか、治療法はないか、入念に検査すること。

Si tienes un problema grave de salud, consulta con el doctor Salvador. Buscó por debajo de las piedras y me curó cuando todos los médicos me daban por desahuciado.

深刻な健康問題を抱えているなら、サルバドール医師を頼るといい。他のあらゆる医者から見放された時、彼はすみずみまで検査して私を治療してくれた。

Tirar la toalla antes de tiempo

然るべき前にタオルを投げる→途中で放棄する

タオルは、ギブアップの比喩。他にも治療法があり得るのに、諦めること。

El médico dice que mi madre es una enferma terminal. Voy a pedir una segunda opinión porque creo que el médico ha tirado la toalla antes de tiempo.

医者は私の母は不治の病だと言ったが、それは治療の放棄だと感じたため、私はセカンドオピニオンを受けることにした。

Estar curado/a de espanto

Ahogarse en un vaso de agua

Estar curado/a de espanto

もはや恐れるものはない

さんざん苦い経験をしてその度に乗り越えてきたので、怖いものなし。

Isabel está curada de espanto porque ha sido médica militar en zonas de conflicto bélico.

紛争地域で医者をしていた経験があるので、イサベルに怖いものはない。

Ahogarse en un vaso de agua

水1杯で溺れる→些細なことですぐに挫ける

打たれ弱くて、軟弱な精神の持ち主。ビビり。

No seas muy exigente con la nueva médica; es su primer trabajo tras terminar la carrera y es normal que, de vez en cuando, se ahogue en un vaso de agua.

新米医師には厳しく当たりすぎないで。彼女は大学を卒業したばかりで、これが初仕事なの。だからときどき、小さなことで挫けてしまうのは普通のことなの。

Coger el toro por los cuernos

(Poner) paños calientes

Coger el toro por los cuernos

牡牛の角を掴む→一大決心をして問題と対峙できる

闘牛士が自らの危険を顧みず正面から牡牛の両角を掴むように、勇気を持って重大な問題に取り組むこと。

Pepe está hoy vivo porque la médica que le diagnosticó la enfermedad cogió el toro por los cuernos y le operó de urgencia.

ペペが今日生きているのは、彼の病気を診察した医者が、勇気を持って緊急手術に踏み込んだおかげである。

(Poner) paños calientes

熱い布（湿布）を貼る→その場しのぎの策でやり過ごす

容易で中途半端な治療法に逃げること。勝手に回復するのを待つこと。

Los médicos trataron al enfermo con paños calientes. El paciente empeoró y tuvieron que ingresarlo en la UVI.

医者たちはその患者の治療を甘く見ていた。彼の容体は悪化し、集中治療室に移動しなくてはならなくなった。

Los experimentos con gaseosa

Tratar como conejo de indias

Los experimentos con gaseosa

子供用の飲料で試す→少しずつ様子を見ながら使用する

新薬や新技術を治療に適用する際、慎重に危険性を確認しながら行うこと。治験で安全性を確認した上で導入すること。予防原則の適用。

Felipe, ¡se precavido al utilizar los nuevos medicamentos! Ya sabes, los experimentos con gaseosa.

フェリペ、新薬品を使う時は慎重にね！　よく云われているように、少しずつ使用しながら様子を見て、危険と判断したら直ちに使用をやめなければいけないよ。

Tratar como conejo de indias

モルモットのように扱う、患者を実験動物扱いする

十分な安全性、透明性のないまま、新治療法を患者に使う。

Ha sido expulsado del colegio de médicos por tratar a los pacientes como conejos de indias.

患者を実験動物のように扱ったので、彼は医学会から追放された。

支倉常長のルーツを訪ねる
ハポンさん達の旅

文 / 支倉常長家14代当主 支倉正隆

ユネスコ記憶遺産・国宝　支倉常長像　仙台市博物館蔵

2018 年訪西文化使節団ツアー

2019年3月のある日、私の長男の常仁とスペインのコリア・デル・リオに住む中学2年生のエンリケ君がビデオチャットで話していると、エンリケ君から「8月に日本へ行くよ」と嬉しい知らせが届きました。そして7月30日ハポンさん達21名の皆さんが支倉常長のルーツを訪ねるため日本へやってきました。

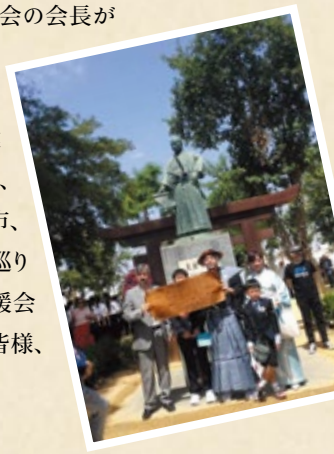
仙台藩祖・伊達政宗公の家臣である支倉常長が率いる慶長遣欧使節団は、メキシコとの通商条約を結ぶため慶長18年（1613年）秋、現在の宮城県石巻市月浦を出帆しメキシコへ向かいました。その後、スペインに上陸しフェリペ国王と謁見、マドリードで洗礼を受け、イタリアのローマでは教皇パウルス五世に謁見、ローマ市民権証と貴族の称号を与えられました。

常長達は各国より盛大な歓迎を受けますが、日本側のキリシタン禁教令などにより、交渉は頓挫してしまい、日本へ帰国することになりました。しかし使節団の何人かはスペインのコリア・デル・リオへ残ることを選択し、日本を意味するハポンを名乗るようになったと現地で考えられており、今では700人ほどのハポンさん達が住んでいるとのことです。

東日本大震災が起きた時、ハポンさん達はコリア・デル・リオに建つ常長像の前に集まり、犠牲となった方々の冥福と被災者の復興を祈念していただいたことが新聞に掲載されました。その記事を目にした私の父13代目はコリア・デル・リオを訪問し、ハポンさん達と400年を超えた再会を果たし、支倉常長家の末裔として、東日本大震災の被災地を代表しお礼を述べました。ここから、支倉常長家とハポンさん達との交流が始まりました。

その後、常長生誕の地とされる山形県米沢では、支倉常長日西文化協会が設立され、昨年は仙台にてハポン・ハセクラ後援会が設立されました。これらの会の活動により、スペインとの交流がさらに活発に行われるようになりました。

2013年の日本スペイン交流400年記念イベントや昨年の日本スペイン外交関係樹立150年記念イベントでは、私達家族でスペインのコリア・デル・リオを始め、常長ゆかりの地を訪れました。2017年にはコリア・デル・リオ市の市長とハポン・ハセクラ協会の会長が来日し、常長ゆかりの各地の首長を訪ね、支倉都市同盟を呼びかけました。



そして今年、21名のハポンさん達は、自分達のルーツを訪ねるために来日されました。京都、東京を観光後、常長のゆかりの地である米沢市、仙台市、川崎町、石巻市、女川町、大郷町を巡ります。その旅の模様は、それぞれの協会、後援会の皆さんが記事にまとめてくださっています。皆様、どうぞお楽しみください。

1 1613年10月28日
月浦（石巻市）よりサン・フアン・バウティスタ号出帆

2 1614年1月29日
アカプルコ到着

3 1614年10月5日
スペイン到着
1615年1月30日
スペイン国王謁見

4 1615年10月25日
ローマに到着
11月3日
ローマ教皇謁見

5 1618年8月10日
マニラに到着

6 1620年9月20日
仙台に到着

支倉常長像 画像提供

仙台市博物館
国宝慶長遣欧使節関係資料や仙台伊達家からの寄贈資料をはじめ、仙台の歴史・文化・美術工芸資料など約9万7千点を所蔵。
〒980-0862仙台市青葉区川内26
＜仙台城三の丸跡＞
【お問い合わせ（情報資料センター）】
電話：022-225-3074
開館時間：9時00分から16時45分（入館は16時15分まで）
休館日：月曜日（祝日・振替休日の場合は開館）祝日・振替休日の翌日（土・日曜日、祝日の場合は開館）
観覧料（常設展）：一般・大学生 460円（団体 360円）高校生 230円（団体 180円）小・中学生 110円（団体 90円）※団体料金は30名以上※特別展は別途

2019.7.30 PM

京都

文 / 下平晴朗(日西観光協会会長)

7月30日夜、ホテルでハポンさん達を出迎えたのは支倉常長家14代当主正隆さんご家族と京焼の陶芸家・小峠先生夫妻。再会の喜びのハグをして、八条口の居酒屋で乾杯、その後パブで寝酒と思いきやフラメンコ・セビジャーナス、長旅の疲れはサテどこに?

翌31日はガイドの谷口由樹子さんの案内で伏見稲荷へ。手水と参拝の作法を教わり、身も心も清めてお祈りをしながら皆が神妙にお参り。次は二条城、靴を脱いでの館内見学は人生で初めての経験。続いて金閣寺、東山、清水寺、地主神社。産寧坂、二寧坂、八坂さんと徒歩で、日本の中世だと言ってワクワク。花見小路では舞妓さんに遭遇。木屋町三条の焼肉屋で和牛とビールと初めて口にする焼酎で飲み会。ホテルに戻って就寝かと思いきや、半分のメンバーが前夜のパブで寝酒とフラメンコ!　初日からスペイン人パワー満開。京都では、寺(仏教)と神社(神道)の違いがキチッと学習できました。

KIOTO

2019.8.1 AM

静岡県富士宮市

文 / 渡邊実(日西支倉常長協会顧問)

8月1日朝に新幹線の新富士駅で下車。残念ながら終日曇りで、富士山を拝むことはできませんでしたが、まずは白糸の滝と田貫湖を訪問。天下の名瀑・白糸の滝は、国の名勝および天然記念物で、富士山の雪解け水が高さ20m・幅150mの湾曲した絶壁から大小数百の滝となり流れ落ちています。その冷たい水に足を浸して涼を取った後、湖面にも映し出される富士山頂からの朝日「ダブルダイヤモンド富士」で有名な田貫湖に行き、静寂な自然のひと時を楽しみました。

富士宮市中心部に移動し、全国約1,300社ある浅間神社の総本社で正式参拝の玉串を捧げ、浦安の舞の奉奏後、地元のフラメンコダンサー達によるセビジャーナスでの歓迎を受け、ハポンさん達も踊りの輪に入って交流。最後に全国的に有名な富士宮焼きそばを食べて、副市長以下富士宮市職員に見送られ新富士駅に戻り、東京・東北の旅へ出発されました。

FUJINOMIYA

TOKIO

ハポン会長(左)と、ホルヘ・トレド・アルビニャーナ駐日スペイン大使(右)

2019.8.1 PM

東京

文 / 下平晴朗

1日夕刻に到着。汐留カレッタのスカイレストランから眼下に見る大都会、ライトアップされた真っ赤な東京タワー、レインボーブリッジにビックリ。ここで支倉常長日西文化協会の名和さんと山田さんが夕食会に参加、再会のハグ。翌2日は元マドリード在住の宮瀬裕子さんと、ワーキングホリデーで訪日中のアルトゥーロ君に同行してもらい東京観光。スカイツリー、仲見世、浅草寺。常香炉の線香の煙で身を清めお参り。京都、富士宮と続いて常に「身を清めて」日本にいると僕らは聖人になるのでは?　と冗談を言うハポンさん達。

東京下町の情緒を楽しみ、秋葉原にも立ち寄り、その後スペイン大使公邸へ。駐日スペイン大使ホルヘ・トレド・アルビニャーナ主催の歓迎レセプション。会談では2年前にコリア・デル・リオ市長と日西支倉協会会長とでプレゼンした「支倉都市同盟」のこれまでと今後の活動の話をし、この4月にコリア・デル・リオで開催された第1回ハセクラカップに招聘されたコバルトーレ女川の子供達のビデオ上映。大使より今後の活動の理解と応援をいただきました。

3日は築地場外市場を自由散策。買い物、刺身とビールで時間を過ごして、皇居二重橋前へ。今年夏に封切された映画『Los Japón』の舞台の1つが皇居なので、映画の主人公になった気分。渋谷でスクランブル交差点体験。ハチ公と記念撮影、カフェで昼食会。東京最後の夜はお茶の水駅近くの居酒屋の個室で旅行中間の意見交換会。フラメンコの歌と手拍子、多少の踊りでテンションが上がり、初めて日本の店で注意を受けてビックリしたハポンさん達は素直に静かに歌い出しました……黙ることができないスペイン人です。

スペイン大使公邸にて

2019.8.4

山形県米沢市

文 / 名和玲子（支倉常長日西文化協会副理事長）

3日、ハポン会長は皆と別行動。支倉常長家14代当主一家と東京近郊で入院中の13代常隆様のお見舞いへ。病室には、ハポンさん達からの贈物の千羽鶴がありました。会長は持参したメッセージを日本語でゆっくり読み上げ、13代の足や腕をさすり「また来ます！　お大事に……」とお声をかけ部屋を後にしました。

翌朝いざ米沢へ。歓迎式典でハポンさん達は市民の拍手で迎えられ、ハポン会長からもお礼の言葉やコリア市長からの親書とお土産が渡されました。記者会見で帰郷の感想を聞かれた一行は、口を揃えて「光栄です」と回答。多くの侍、偉人を輩出してきた米沢の「風土」を感じ、改めてサムライの末裔であることに誇りを持ったのか、あの明るい国民性だけではない「ハポンさん」を感じました。

コリア・デル・リオと米沢の交流の軌跡

2014年、スペインで開催された「日本・スペイン交流400周年事業」に参加したさくや姫文化使節団が、東日本大震災で被災したSoul & Beat TEN-CHI-JINと共に「支倉常長生誕の地米沢」を紹介。その事業を繋ぐ形で2017年（一社）支倉常長日西文化協会が設立されました。支倉常長生誕の地・米沢では毎年、日西交流事業が行われています。伊達政宗公生誕450周年の2017年には、伊達家18代当主、支倉常長家14代当主、ハポン・ハセクラ協会会長、コリア・デル・リオ市長が400年の時を越え再会を果たしました。

2018年、同協会とさくや姫文化使節団共催の「訪西文化使節団」65名は、支倉常長家14代当主を筆頭にコリア・デル・リオを訪問し、ハポンさん達とパレードや文化交流を行い、その結果が、この度の訪問に繋がりました。

夜の「ウェルカムハポン！夏祭り」では、縁日のしつらえと市民の手料理でおもてなし。花笠音頭やフラメンコを共に踊り、「幸せなら手を叩こう！」をハポンさんが日本語、日本人はスペイン語で楽しく歌いました。その時、ハプニング発生。震度4の地震が米沢を襲いました。ビックリしたものの、ハポンさん達の明るさはここでも発揮。バンドの音と共にそのまま盛り上がり会は無事終了。里帰りしたハポンさん達の故郷訪問は、両国民が歴史に感謝し、国を越えた平和を体感した1日となりました。

来日記念式典

浴衣と甲冑着用のハポンさん

花笠音頭のハポンさん

YONEZAWA

市民の手料理でおもてなし

2019.8.5

宮城県仙台市

文 / 寺田美穂子（ハポン・ハセクラ後援会）

8月5日から9日まで、ハポンさん達は宮城を来訪。

4つ以上はあるとされる常長の墓

支倉常長のお墓は少なくとも4つ以上はあると云われます。禁教後に帰国した常長は2年後に亡くなり、伊達家菩提寺の光明寺に葬ったと、伊達政宗公は江戸幕府に報告。しかし、遠く離れた場所にこっそり隠遁させたと思われる状況証拠が大郷町で発見されています。さらに山形の米沢で生まれた常長が支倉家の養子となった後、幼少期を過ごした川崎町の支倉家領地には隠れキリシタンの痕跡があります。それぞれに常長を祀るお墓があり、ハポンさん達はそれぞれ表敬訪問し大歓迎されました。

5日は、青葉城址、東北大学、そして仙台市博物館も訪問。支倉家の家宝の多くはこの博物館に所蔵されています。6日夜は各家庭でホームステイをして交流を深めました。7日は伊達家ゆかりの仙台勝山館にて、ハポン・ハセクラ後援会が主催したファン・カルロス・ハポンさんとジョランダ・メラードゲラさんの神前式があり、羽織袴の新郎に白無垢姿の新婦が日本語で誓いの言葉を述べました。同日夕方、伊達政宗公の霊廟「瑞鳳殿」の七夕ナイトへ。ここで伊達家18代ご当主の伊達泰宗様がハポンさん達をお出迎えくださいました。400年を超えた再会です。8日は、サン・ファン・バウティスタ号が出帆した月浦港、サン・ファン館、松島円通院を訪れたほか、石巻市長や女川町長を表敬訪問。日本最後の夜は女川で地元の皆さんとフラメンコを踊り、楽しみました。

SENDAI

1 5日に訪れた光明寺。写真は8歳のダビッ君
2 光明寺の常長のお墓の前で手を合わせました
3 6日に訪れた大郷町。常長は、84歳までここに隠れ住んだと云われています。この地に立つ支倉常長像は、コリア・デル・リオのものとまったく同じ。一緒に写っている大郷の舞踊会の皆さんは、支倉常長公追悼の舞を披露
4 仙台勝山館にて挙げられた神前式
5 瑞鳳殿にての伊達泰宗様とハポン会長

今回21名のハポンさん達がコリア・デル・リオから来日。東北の支倉ゆかりの地を巡ったほか、それぞれの都市の歴史観光、ラーメン、カラオケ、メイド喫茶まで、さまざまな日本文化を体験。たくさんの地元の人達の温かいもてなしのおかげで、彼らも充実した日々を送ることができたようです。

フアン・フランシスコ・ハポン（日西支倉常長協会会長）

私達ハポン姓21名の日本訪問は、支倉常長家14代ご当主や下平さんほか、日本の友人達にご同行いただきました。

私達は、先祖が日本人であったことを表す「ハポン」の名を誇りに思っていますので、この滞在には深く感動しました。中でも仙台でのフアン・カルロス夫妻の神前式は、日本で初めてハポン姓の者が結婚式を挙げたという、歴史的に重要な出来事となりました。私達は自らと日本との歴史的な絆を自覚しています。日本は、コリア・デル・リオのハポン姓を誕生させた国ですので、感謝の気持ちはこれまでも今後もいつまでもあります。おもてなしいただいた各地の皆様に、心から感謝を申し上げます。

〈協力団体〉日西支倉常長協会 / ハポン・ハセクラ後援会 / 支倉常長日西文化協会 / 日西観光協会 / ミキ・トラベル / さくや姫文化使節団

オーデックス・ジャパン
社長のニーノです。

Ninoの日本のおうちワイン

エスパニョール そして 6本セット

税込
10,000円
通常：14,410円

送料無料！
（通常：1,100円）

Esprit 樹 ki（白）
定価1,650円

ミシュラン星付きレストランの料理人からワインメーカーに転身したルネ。彼はフランスの日本食レストランでのベストセラーワイン「Tursan Sushi」を手掛け、大成功を収めました。日本人の味覚を良く知るルネとオーデックス・ジャパンのコラボで誕生した「Esprit 樹 ki」。フランスの名産地トゥルサンの森の樹で採れたぶどうの気（esprit）。新しい発見をお楽しみください。

Esprit 樹 ki（赤）
定価1,650円

wabisamba（白）
定価2,090円

バスクの貴公子テルモ・ロドリゲスとのコラボで誕生。日本の「わび・さび」の概念を反映させた2つの特別なボトル。wassanova（赤）は京料理にも良く合い、ラベルは美しい嵯峨野の紅葉をイメージしています。wabisamba（白）は、寿司に良く合うテルモのワイン「BASA」がベースとなっています。ラベルは北海道・富良野の冬、そして雪を表現しています。

wassanova（赤）
定価2,090円

M2（赤）
定価4,950円

高級ワイン産地として名高い、リベラ・デル・デュエロで生産されたテンプラニーリョの赤。同時期にJALとANAのファーストクラス提供の赤ワインとして採用された実績を持ち、程よく樽熟成されたリッチな味わいを楽しめます。

赤とんぼ（赤）
定価1,980円

バレンシア南西部の注目ワイナリー、セィエル・デル・ロウラの赤ワイン。このワイナリーは絶滅危惧のバレンシアの地ぶどうマンドーを復活させました。NHKテレビ「旅するスペイン語」でも紹介されました。

【お問い合わせ先】

株式会社オーデックス・ジャパン 〒108-0074 東京都港区高輪4-1-22

TEL: 03-3445-6895　glasshouse@odexjapan.co.jp

MUSEO TELMO MATADOR

令和2年
11月21日
OPEN!

Museo Teimo Matadorとは：
1995年創刊の雑誌『マタドール』は、アルファベット順のタイトルで年に1度だけ発行されるスペイン発アート・マガジン。読めるのは会員のみで、絵画や写真、音楽など、スペインで見出された最高クラスの芸術文化を世界に発信しています。過去には『エル・ブジ』フェラン・アドリアの料理をモチーフとした作品と、ピーター・シセックのコラボレーションも実現。シリーズの1つ「I:ORIENTE」では日本人写真家の杉本博司、荒木経惟、今道子、森村泰昌らを大きく取り上げ、さらに坂本龍一とアルヴァ・ノト（ドイツのエレクトロニック系ミュージシャン）コラボレーションCDも付録。エグゼクティブクラスや意識の高いライフスタイルを求める人々を対象として発行している本誌出版社の副社長を務めているのが、テルモ・ロドリゲスです。テルモは本誌と関連して「著名な現代アーティストがラベルを描き、それに合わせて選ばれた造り手が特別なワインを生涯に一度だけ作る」というプロジェクトを毎年監修。雑誌とともに、アート作品としての価値がつき、世界中の現代アートコレクターや美術関係者もこぞって手に入れようとするほどの希少性の高い超限定生産ワインが、雑誌と同名のボトル「マタドール」なのです。

テルモ・ロドリゲス

glass house dos（ドス）

建物敷地面積
33㎡［3.6m×9.1m］

期間限定で無料*でお貸しします。

オーデックス・ジャパンのスペース「glass house dos（ドス）」は品川駅から徒歩10分の高輪4丁目にあります。閑静な住宅地にあり、景観抜群のロケーションです。晴れた日には外のテラスでのんびりくつろぐことができます。オーナーNinoのこだわりで、電気とエアコンがありません。なるべく自然に近い状態の方が居心地が良いと感じています。このスペースを「Museo Telmo Matador」オープンの前に限り、スペイン文化活動のために貸し出しします。フラメンコや地中海の食文化イベント、文化・教養講座などに是非お役立てください。

詳しいお問い合わせ先として

そして、今、都会の大自然で、たとえばフラメンコ！

春は桜とハナミズキ、夏はさるすべり、秋は紅葉、冬はシジュウカラの鳴き声、穏やかな時間の流れを感じながら、四季折々の景観を楽しめます。都会の喧騒から離れ、心が癒されます。
太陽の下でのフラメンコはなんとも言えない気持ち良さを味わえます。

***利用条件**

イベントに参加される方お一人につき、Telmoとのコラボワイン、スペイン産「Ninoの日本のおうちワイン」wabisambaまたはwasanovaを1本1,900円（税抜）ご購入いただくだけです。

Eco エコ
España エスパーニャ

スペインの“エコ”を
お届けします

vol.16

マドリードに、サッカーのレアル・マドリードの選手たちにピザの出前をしているというイタリアンレストラン「ドン・ジョバンニ」がある。オーナーは、イタリア人の名物シェフ、アンドレアさん。ここで働いているのは、ほとんどが移民だ。

アンドレアさんは、Cocina Conciencia プロジェクトの理念に賛同し、2017年から、移民の若者たちを受け入れている。移民の若者たちを支援する「ライーセス財団」が全国の一流シェフに呼びかけて始めたこのプロジェクトは、移民の若者が抱える問題を理解し、各レストランが社会的責任として、若者に職を提供するというものだ。それは彼らに居場所を与え、社会人としての自覚を促していく。

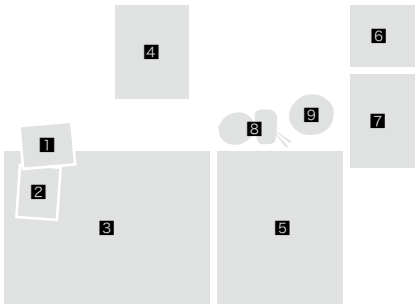
良心のキッチン コシーナ　コンシエンシア「Cocina Conciencia」

写真・文　篠田有史

現在、スペインの30のレストランで、50人以上の若者たちが働いている。

スペインへは、さまざまな国から移民がやって来る。言葉が同じ中南米からの移民は、婚姻や家族の呼び寄せなど合法的な場合が多いが、アフリカなどから来るのは、ほとんどが密入国の若者たちだ。彼らは、まともな仕事もなく、夢も持てない祖国を捨てて海を渡る。しかし、現実は甘くはなく、捕まれば施設に収容されたり、強制送還されたりする。未成年なら在留許可が下りて支援を受けられることもあるが、成人した時、自立生活を送るためには、職を見つけて労働許可を得なければならない。

「ドン・ジョバンニ」では、現在、モロッコとバングラデシュから来た2人の若者が働いている。レドワン(23)は、14歳の時にモロッコを出て、アフリカの北の端にあるスペイン領セウタに潜り込んだ。が、捕まりセウタの施設で３年を過ごした。その後、スペイン本土へ密航し、マドリードにたどり着く。働き始めて2年経つ彼は、「厨房の雰囲気はいいし、仕事は楽しい。まじめに働いて、いつか故郷に自分のレストランを作りたい」と笑顔で夢を語った。



1 オーナーシェフ・アンドレアさん
2 「ドン・ジョバンニ」入口
3 店内
4 Cocina Concienciaプロジェクトの創始者ルルデスさん
5 アンドレアさんを挟んで、スンドール(左)とレドワン(右)
6 厨房での調理の様子
7 バングラデシュから来たスンドール
8 プレート「ウォヴォ・ミレジメ(ビンテージエッグ)」(左)と水牛の燻製モッツァレラチーズ(右)
9 ピッツァ・アンドレア

DON GIOVANNI
Paseo de Reina Cristina, 23 (posterior)
28014 Madrid
Tel: +34 914 348 338
www.dongiovanni.es

篠田有史 / Yuji Shinoda
1954年岐阜県生まれ。フォトジャーナリスト。24歳の時の1年間世界一周の旅で、アンダルシアの小さな町Lojaと出会い、以後、ほぼ毎年通う。その他、スペイン語圏を中心に、庶民の生活を撮り続けている。【写真展】富士フォトサロンにて『スペインの小さな町で』、『遠い微笑・ニカラグア』など。【本】『ドン・キホーテの世界をゆく』(論創社)『コロンブスの夢』(新潮社)、『雇用なしで生きる』(岩波書店)などの写真を担当。

ピアニスト・下山静香の

音楽の時間

スペイン◆舞踊と音楽の物語
その6
ファンダンゴ（3）

前号までは芸術音楽の分野におけるファンダンゴを中心にみてきたが、その元にはもちろんフォルクローレとしてのファンダンゴがある。前々号では、スペイン各地に「ファンダンゴ」が存在し、地域によっては他の民俗舞踊・音楽とも相互に影響し合っていることをご紹介した。

フランスの画家ピエール・シャスラ作《ファンダンゴ》（1810年頃）

フォルクローレとしてのファンダンゴは男女ペアで踊られるのが一般的だ。アンダルシア・タイプのファンダンゴの音楽は形がほぼ共通していて、「バリアシオン」もしくは「イントロドゥクシオン」と呼ばれる楽器演奏によるセクションと、コプラ（唄）によるセクションでできている。コプラには、スペインの民俗音楽でよくみられる「8音節4行詩」（2行目と4行目で韻を踏む）が用いられている。その他、和声進行などにも共通の傾向がみられる。

アンダルシアのファンダンゴは特に、フラメンコ音楽とも密接な関係があることは、多くの皆さんが推測するところかと思う。フラメンコ化したファンダンゴはもっとも原初的なカンテとされ、よく知られているのはファンダンゴ・デ・ウエルバだろう。ファンダンゴ・デ・グラナダ、ファンダンゴ・デ・ルセーナあたりもポピュラーだ。挙げた順に、アンダルシアのウエルバ県、グラナダ県、そしてコルドバ県で誕生もしくは発展したため、各地域の名がつけられている（ルセーナは、コルドバ県の基礎自治体）。金や銅が採れたアンデバロ鉱山地域と深いかかわりがあるウエルバのファンダンゴだけをとってみても多数のバリエーションがあるし、マラゲーニャやロンデーニャをはじめとする「ファンダンゴ系」の曲種を入れていくとさらに増えるので、バリエーションの全体数はなかなかすごいことになる。恐るべし、ファンダンゴ。

パリージョ（カスタネット）もついて華やかなファンダンゴは、フィエスタにも適したナンバーだ。踊りの雰囲気も快活なのだが、曲調はどこかメランコリック。私が続けているフラメンコレッスンでも、セビジャーナスと同様に基礎的な定番曲となっていて、時々パリージョ練習を兼ねて踊ることになる。師匠の編み出すパリージョは複雑で凝っていて、「これを完璧にやれたらかっこいいだろうな」とは思うのだが、あまり練習していないせいか（いや、9割方それが原因）なかなかうまくいかない。フラメンコのカスタネットは、縛って輪状にした紐を2本親指にはめて締め、対のカスタネットがパカッと開いた状態にするのだが、私は親指がうまく内側に折り込めず押さえが甘いため、残りの指で打つときに小指がパリージョから外れやすいのである。そういえば、マドリードに住んでいるときに10ヶ月ほど通ったスペイン舞踊クラスの先生は国立バレエの団員で、「暇があればパリージョを手にはめて、テレビを見ながらでも鬼のように練習した」と言っていた。やはり何事も、努力の賜物であることをあらためて思い知る私である。

かなり話がそれてしまった。このへんで、かつてのスペインの植民地に目を転じてみよう。

17世紀以降、中南米のスペイン語圏では、人々が歌と踊りと演奏で盛り上がる宴が「ファンダンゴ」と呼ばれていたことは前々号で述べた。それは踊りを指す言葉としても使われていたが、次第に地方色が打ち出されて、固有の呼び名に変化していった。その一例が、ベネズエラの「ホローポ」である。

ベネズエラの画家エロイ・パラシオスによるホローポの画。描かれている楽器は左からクアトロ、アルパ、マラカス

ホローポの最大の特徴は、3拍子と2拍子が同時進行するような複合的リズム構造である。ちなみに3拍子と2拍子の合体は、南米の多くの民俗音楽にみることができるもので、スペインから伝わったリズム要素が当地で発展したものと考えられている。ホローポは3種類に大別されるのだが、そのなかでも王道のイメージがあるのは「ホローポ・ジャネーロ」と呼ばれるタイプ。これがジャーノ(大平原)の美学が結晶した芸術表現だと知れば、アルゼンチンのパンパ(大草原)に生きたガウチョたちの美学や生き様がミロンガに込められていたことと大いに通じるように思うのだ。そういえば、ベネズエラではカウボーイのことをジャネーロという――

さてそのジャーノ・スタイルのホローポに、「ファンダンゴ」にとても近い曲種がある。特に「パハリージョ」は、その調性、ミの旋法、循環和声、メロディの変奏などの点で、18世紀スペインにおいて「ファンダンゴ」と呼ばれていた音楽の形を残していて大変興味深い。ホローポは、音楽形式の枠は決まっているものの即興演奏が基本、アルパとクアトロの即興バトルなど聴いていると、同じように興の乗るままボルテージが上がっていくファンダンゴの興奮もさもありなん、と想像してしまう。

スペインの植民地は、アジアにも存在した。それは、国名がスペイン国王のフェリペ2世にちなむフィリピンである。1521年、ポルトガル人マゼラン率いるスペイン艦隊が太平洋を横断してフィリピンに到来、改宗と服従を強要するが抵抗に遭って撤退。その後サラゴサ条約(1529年)などを経て、16世紀後半にはフィリピン諸島の大部分がスペインの領土となった。以後約3世紀にわたりスペインの支配下にあったフィリピンには、言語をはじめスペイン文化の様々な要素が伝わり、フィリピン仕様になっていった。そのなかに、「ファンダンゴ」からの派生とされる民俗舞踊も認められるのである。それはタガログ語で「Pandanggo」と呼ばれるもので、やはり様々なタイプが存在する。なかでも知られているのがミンドロ島の「Pandanggo sa ilaw」で、カスタネットではなくオイルランプを手に(頭の上に載せることもある)優雅に踊る姿が印象的だ。現在のパンダンゴ音楽を聴いてみると、ホタとファンダンゴをミックスしたうえ、哀調を帯びたアジア風にしたような趣か。フィリピンに行ったなら、ぜひ生の楽器伴奏で観てみたいダンスである。

フィリピンにまでたどり着いたところで、ハバネラに負けず劣らず世界を旅したファンダンゴのお話はひとまずおしまい。次はどんな舞踊が登場するか、お楽しみに!

下山静香 / Shizuka Shimoyama

桐朋学園大学卒。99年、文化庁派遣芸術家在外研修員として渡西、マドリード、バルセロナほかで研鑽。NHK-BS、Eテレ、フランス国営ラジオなどに出演。海外アーティストとの共演多数。CD《ゴィエスカス》《ショパニアーナ》など11枚、共著は10冊以上を数える。単著『裸足のピアニスト』、翻訳書『サンティアゴ巡礼の歴史』。2015年より「下山静香とめぐるスペイン　音楽と美術の旅」ツアーシリーズを実施。桐朋学園大学、東京大学 非常勤講師。日本スペインピアノ音楽学会理事。

www.facebook.com/shizukapianista17

裸足のピアニスト・下山静香のブログ
ameblo.jp/shizukamusica

★ ニューアルバム《Alma errante ～ さすらいの魂》中南米ピアノ名曲コレクションⅡ・アルゼンチン編　好評販売中!

Información

★11月3日(日・祝)15時～	山村有佳里フルート・ピッコロリサイタル【ピアノ共演】(京都・バロックザール)
★11月18日(月)～25日(月)	「下山静香とめぐるキューバ　～ハバナ&サンティアゴ・デ・クーバ～」郵船トラベル
★12月7日(土)14時～予定	駒場松桜会コンサート【ギタリスト河野智美・益田正洋と共演】(東京オペラシティ リサイタルホール)

水彩画だより

vol.10

スペインの風景に魅せられて

スペインの各地を旅するとき、世界遺産、パラドール、白い家と花通りなど、
多くの場所で個性的で美しい景色に遭遇し感動します。
その思い出を水彩画で楽しく表現しました。

花のある通り

花のある屋上

花のある窓辺

Frigiliana
白壁の家と花の通り

地中海を見下ろす展望台「ヨーロッパのバルコニー」のあるネルハから北東に約5km進むと、山間にある白い壁の村フリヒリアーナに到着する。村中は小さな坂道や階段が延び、よく手入れされた白い壁、窓辺に咲くベゴニア、ゼラニューム、ハイビスカスが、旅人に心を込めたおもてなしをしてくれる。

白い村並みの向こうに地中海が見え、どこを見ても絵になる場所だ。地元の民芸品のお店では陶器、織物、手編みの籠などが並んでいる。

空気のきれいな山道をのんびりと散策し、山頂のカフェテラスからは村が一望できる。

牧瀬 貢 / Mitsugu Makise
一般社団法人横浜スペイン語センター前理事長。横浜市戸塚区在住。1961年、ブリヂストン横浜工場にエンジニアとして転勤、ここを拠点に数多くの国内・海外経験を積む。ドイツ、カナダ、米国、イギリス、スペインに駐在。短期的な出張含め世界100ヶ国を経験。とりわけ、最後の駐在地スペインの風土、国柄に惚れ込み、北部バスク・ビルバオに駐在、休暇中に17州51県をくまなく廻り、また定年後、思い出の場所での絵画制作を楽しむ。

スペイン味うぉっちんぐ
第５回　ニンニク

片岡 治子 / Haruko Kataoka
大阪府出身。1991年より渡西。スペイン全土を食べ歩きののち、「食」や暮らしに関するコラムやレシピ執筆。様々な業務経験を経て、現在、バレンシアを拠地に飲料、食材・食器の輸出、卸販売ほか、スペインの「食」をトータルで日本へ届ける『オルカ・スペイン』代表。ブログ媒体を通してスペインの内側から見る「食」を紹介するほか、体験版グルメツーリズムにも積極的に取り組んでいる。執筆依頼も可。

●スペインの「食」を日本に届ける『オルカ・スペイン』
www.orkaspain.com
●スペイン「食」の案内人のnote
note.mu/viveahora
●お問い合わせ先
orka@orkaspain.com

最初に覚えたスペイン語の単語が『ニンニク』だという人は関西人に多い。関西人にとって、これほど愛着のある言葉はないからだ。親に「アホたれ!」と怒鳴られても「やっぱり息子、血は争えんし」という限りない愛情が滲み出し、失敗して同僚に「アホやのぉ」と言われても「怒るに怒れないしょうがない奴」という残念賞がつく程度、恋人同士が「もう、アンタのアホ!」と言ったところで、「だから、あなたが好きなのよん」と精々ハートマークしか飛ばない。関西弁と関東弁で「アホ」＝「バカ」と自動翻訳できるほど単純なのもではない。「アホ」には「バカ」にはない愛が染み込んでいる。

いきなり脱線してしまったが、その『アホ』こそが、スペイン料理には欠かせない食材『ニンニク』なのだ。近年、スペイン料理の代表としてパエリアと頂点を競っている『アヒージョ』。単語を分解すると、ニンニクajo+示小語 illoであり、その名の通り、小さく切ったりスライスしたりしたニンニクが必須で、『アヒージョ』とは本来、ニンニクの香りをしっかりつけたオリーブオイルを使った調理法をさす。

つまり、『アヒージョ』のポイントは、ニンニクとオリーブオイル(時として唐辛子もプラス)であって、最近よく見かける、カスエラ(土鍋)の中でオリーブオイルがグラグラ煮立つビジュアル的なインパクトに押されて、主役であるニンニクの影が薄い『アヒージョ』ではない。

ニンニクを効かせた多めのオリーブオイルで鶏肉や兎肉をこんがりと焼き付け、残ったオイルを使ってワインやレモンなどでソース仕立てにした料理も『Pollo al ajillo』『Conejo al ajillo』と呼び、『Almejas al ajillo』に至っては、ニンニクだけでなく唐辛子を効かせたオリーブオイルに、下処理をしたアサリを加え手早く殻を開かせ、サッと火が通ったところで盛り付ける。いずれもカスエラに入って出てこない。たかが『アヒージョ』とて、調理バリエーションは広い。

これが、日本に上陸するなり、スペインでは思いもつかないような食材が『アヒージョ』に変身してしまうのだから面白い。個人的に、牡蠣のアヒージョは日本が生んだアヒージョ文化の傑作だと思っている。スペインでは見れない日本のオリジナル版。アレはお世辞抜きで美味しい。

ただ、ニンニク風味のオリーブオイルになら何を入れてもいいというものではない。カマンベールチーズのアヒージョなんかはスペイン人にはショックが強すぎて、自国グルメ愛の強い彼らのことだから炎上してしまう可能性がある。せめて、たこ焼きマシーンでひっそりと楽しむようにお願いしたい。

古代エジプトを起源とするニンニク。紀元前 3000年頃の古代エジプト王朝時代には「不老不死の薬」として重宝され、クレオパトラも食べていたのだとか。さらに、その精力強壮効果を目的に、当時、ピラミッドの建設という重労働に従事した奴隷にも与えられたという。ツタンカーメンの墓からも複数のニンニクが発見されたという。以後、ローマ人によってイベリア半島に持ち込まれたスペインでのニンニク生産量は現在、世界第 4位。ヨーロッパではトップに位置づけられている。ちなみに、世界第 1位の中国の生産量は全体の約 8割を占める。

ドン・キホーテの中にも登場するニンニクの国スペイン。ひょっとするとトラブルをトラブルだと思わないスペイン人の底力は、ニンニクパワーによるのかも？　なんてあるわけがない。

Gambas al ajillo(上) と Almejas al ajillo(下)。どちらも「アヒージョ」。Al ajillo はあくまでも調理法であって、料理名ではない

エコロジー栽培による黒ニンニク。白ニンニクを高温、高湿の一定の環境に置くことで熟成し黒くなる。健康面でも非常に効果が高い。匂いが少なく辛味もないので、蜂蜜と合わせてペースト状にして売られていることも(輸入にご興味のある方は片岡まで)

El Diario de ADELANTE

スペイン情報誌『acueducto』を制作しているのは、有限会社 ADELANTE。
その一部のメンバーたちの日常をお伝えします♪

Kaname Ikemoto

滋賀へ帰省した際、たぬきの焼き物で有名な信楽焼の陶芸体験をしてきました。一塊の粘土を前に、どんな形にしようか？　完成したら何を入れようか？　とワクワクしながら手びねりしていくのが面白かったです。私の側でたぬきの絵付けをしていた息子が丸めてくれた玉をまわりにくっつけて、オリジナルの器が完成♪ 2ヶ月後、青磁色に焼きあがって届くのが楽しみです!

Cristina Osuna

私は、故郷コルドバの郷土料理サルモレッホが大好物♡　作り方はシンプルで、材料はトマト、たくさんのパン粉、オリーブオイル、ニンニクと塩。飾り付けに細切れのハモンやゆで卵を散らします。起源はイスラム帝国だそうですが、新大陸からトマトがもたらされなかったら発明されなかったはず。コルドバに来たらぜひお試しあれ! この街には「El Salmorejo 通り」もあります。

Álex Colominas

梅田にある阪急三番街のスヌーピータウンショップへ行きました！　スヌーピーファンにはたまらないお店ですね。服、日用品、プレゼント……何から何までグッズが勢揃い。スヌーピーが好きならぜひ一度行ってみてください!

Alejandro Contreras

今年の夏、石川県の山で息子と一緒に、生まれて初めて甲虫捕りをしました。日本では大人気のカブトムシやクワガタですが、スペインでは嫌われています。理由は、見た目が、アノ虫に似ているからです……。だから来日したスペイン人は皆、日本の少年少女がカブトムシやクワガタに夢中なのを見てビックリしています！　私は、ようやく苦手意識がマシになってきました。

Mayu Tsuji

今年は庭で畑で海で川で、たくさんBBQをした夏でした。実家で採れた新鮮野菜とこんがり焼けたお肉にお酒があればもう最高！　田舎の空気と自然、おいしいご飯でリフレッシュできた夏休みでした。

Mikel Berradre

僕の好きな生物の1つはクラゲ。動物園や水族館で見かけるたびに、たちまち虜になって見入ってしまいます。スペインではテネリフェ島のロロ公園がお気に入りの観察スポット。直近のバケーションで訪れた時は、ここで朝から何も考えず、ひたすらクラゲをカメラで撮り続けていました。クラゲ観察、ストレス解消になるのでおすすめします。

Jesús Ángel Martín

馬は、雄牛と並んで、スペインに昔からいて尊重されている動物です。戦争や運搬のために重用されていました。スペインには多様な在来馬が生息していますが、最も有名なのはアンダルシア馬です。スペイン純潔種とも呼ばれ、国内の馬牧場の10 % がこの種を育てています。強く賢い中型馬でたっぷりとした鬣と尻尾が立派です。僕は、世界中で最も美しい動物の1つが、この馬だと思っています。

Nagisa Miyata

夏は京都府南丹市の美山「かやぶきの里」へ。日本の原風景の中で、のーんびりと過ごしました！　ここで食べた蕎麦はとても美味しかったです。ここの「ちいさな藍美術館」には、世界各国から集めた藍染のコレクションが展示されていましたが、メキシコのものもありました。藍染はグローバルですね。スペイン語では「藍」は añil または índigo と書きます。

読者アンケート

今号の『acueducto』はいかがでしたか？　読者アンケートにお答えいただくと抽選でプレゼントが当たるチャンス！
皆さまからいただいたご意見は今後の誌面制作の参考にさせていただきますので、ぜひお寄せください。

【回答項目】

1. 今号特集への評価とご感想
2. 特集以外で特に良かった記事へのご感想
3. 今後とりあげて欲しいテーマ
4. 本誌を知ったきっかけ
5. 本誌の入手先・入手方法
6. その他、本誌全体へのご意見・ご感想

回答いただいた方から抽選で当たる！

紅茶専門店ラクシュミー

極上はちみつ紅茶 2g × 25 包（3 名様）

提供：株式会社 Feliz Te'

アンケート送付＆読者プレゼント応募方法

右の回答項目を添えて、ハガキまたはメールで弊社までお送りください。

有限会社 ADELANTE「acueducto 編集部」
〒530-0001
大阪市北区梅田 2-5-8 千代田ビル西別館 2F
info@acueducto.jp
応募締切:2019年11月29日(金)消印有効

acueducto.jp のアンケートページからも簡単に応募できます♪

español é

International House Valencia

最高のスペイン留学がかなう場所

バレンシア

DELE合格率 90%以上

日本人スタッフが 現地でサポート

NEW! SIELE準備コース 開設!!

およそ80万人が住む国際色豊かな都市
旧市街カルメン地区の中心地
11世紀のイスラム時代の遺跡の残る歴史的な校舎をリニューアル
年間300日以上の晴天日
安全で良好な治安
パエリア、ショッピング、スペインバル、サッカー、ビーチ、歴史、文化、現代建築
教師は大学卒のネイティブスピーカー
74カ国からの学生たち
様々なニーズに合わせたスペイン語コース

International House Valencia

International Association of Language Centres

Instituto Cervantes
Centro Acreditado

C/ Caballeros, 36
46001 Valencia, Spain
+34 96 353 04 04
sayaka@ihvalencia.com (日本語でお問い合わせ可)
www.espanole.es/jp (日本語サイト)
www.ihvalencia.com

La Tomatina
トマト祭りツアー

～エスパニョレ IH バレンシアのアクティビティでトマト祭りに参加しよう～

エスパニョレ IH バレンシアでは週に6日アクティビティが行われます。

8月の最終水曜日は、年に1回のお楽しみ、ラ・トマティーナのツアーへ!!

学校からはアクティビティとして貸切バスで行きます。なんと今年の参加者は学校からだけで60人!!

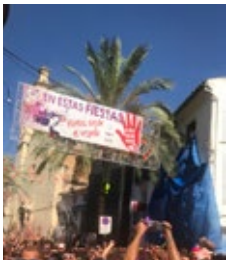
親しいクラスメートやスタッフと一緒に参加でき、お祭り参加中の荷物も預けておけるので安心です!

アクティビティカレンダー

アクティビティ責任者
LIDIA

トマト祭りツアー ～ La Tomatina ～

8月28日に開催されたラ・トマティーナ(トマト祭り)ツアーの様子をリポートします!
トマト祭りはバレンシア郊外の人口1万人にも満たないブニョルという小さな村で行われることをご存知でしたか?
トマト祭りへ参加するなら、エスパニョレIHバレンシアにスペイン語留学をして、仲間たちと一緒に参戦してみてはいかがでしょうか?



S.M. さん

たくさんの人が来ていて大賑わいでした!トマトがトラックから投げられたり、みんなが最後ぐちゃぐちゃになってトマトを投げあう姿は圧巻でした(笑)

とても貴重な体験です!人生で一度は体験しておくべきだと思います。

M.K. さん

日本では決して体験できないような祭りだなと感じました。実際参加してみての熱気は本当に忘れられない思い出となりました。

年に一度の大イベントをスペイン語を勉強しながら参加できてよかったです。学校で出会った友達とのいい思い出になりました。

T.I. さん

テレビやガイドブックで必ず一度は見たことのあるトマト祭り。

実際に体験できて日常では味わう事のできない日本の概念を覆すCRAZYなお祭りでした。

人に物を投げるな。食べ物を粗末にするな。押すな。汚すな等々の概念を覆し、コンプライアンスの厳しい日本ではまず、考えられないお祭りだと思い、スペインという陽気で人生を謳歌している人達が多く住む国だからこそ成り立つお祭りだと思いました。

一度は必ず行ってみたいと思っていたので、とても良い思い出になりました。

最後に「後片付けはどうやってするんだろう」という謎が残りました。

española
Spanish Courses in Valencia
International House Valencia

講師は
ネイティブ

レベル別
少人数クラス

「私のスペイン語、通じた♪」を実感

振替オプション

一般参加OK
特別クラス

月謝払い

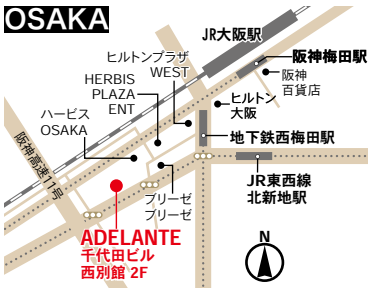
豊富なコース

スペイン語 ADELANTE

www.adelante.jp

無料体験レッスン
随時実施中！
お気軽に
お問い合わせください

お問い合わせ



大阪校

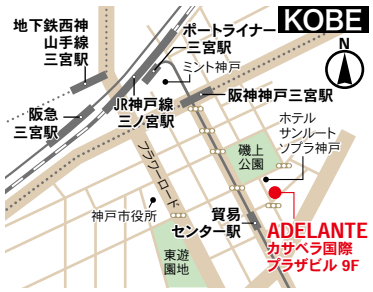
TEL:06-6346-5554

大阪市北区梅田2-5-8千代田ビル西別館２F FAX:06-6110-5122

神戸校

TEL:078-230-2022

神戸市中央区磯辺通1-1-18 カサベラ国際プラザビル9F FAX:078-230-2023



info@adelante.jp

スペイン語の本&雑貨
オンラインショップ アデランテ
ADELANTE

学習テキスト、文法問題集、レベル別副読本、
D.E.L.E.試験対策本、絵本など各種取り扱っています。

www.adelanteshop.jp
携帯・スマホからはこちらへQRコードを読み込んでHPへ

スペイン・中南米への留学手続代行

安心して出発できるよう、全力でサポートいたします。

留学相談、手続き代行無料サービス

- スペイン91校、中南米23校と提携
- 担当スタッフは全員留学経験者
- 実際にスタッフが現地視察しているので安心

スペイン人スタッフが在籍
スペイン語圏留学専門
代行手数料0円

携帯・スマホから
はこちらへQRコード
を読み込んでWEBへ

本誌28-29ページに学校情報、お手続きの手順を掲載しています。ご参照ください。

資料請求／お問い合わせ
www.spainryugaku.jp
info@spainryugaku.jp

5都市にご相談窓口
大阪 ☎ 06-6346-5554 | 神戸 ☎ 078-230-2022 | 名古屋 ☎ 052-766-6406
東京 ☎ 03-6869-6435 | 福岡 ☎ 092-517-9535 | 受付時間 月～土 8:30–21:30 有限会社 ADELANTE